

50/P0907US00

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC971 U.S. PRO
09/878581
06/11/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 6月12日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-180757

出 願 人

Applicant (s):

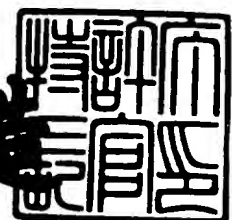
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRICRITY DOCUMENT

2001年 4月13日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-2000001

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000138913

【提出日】 平成12年 6月12日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 7/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 中川 進

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100096806

【弁理士】

【氏名又は名称】 岡▲崎▼ 信太郎

【電話番号】 03-3264-4811

【選任した代理人】

【識別番号】 100098796

【弁理士】

【氏名又は名称】 新井 全

【電話番号】 03-3264-4811

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 029676

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9709207

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 映像コンテンツ提供方法、映像コンテンツ提供システム、映像コンテンツ提供装置、映像コンテンツを提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告映像提供装置、広告映像を提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、映像コンテンツ再生装置、映像コンテンツを再生するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告料集計システム、広告料集計方法及び広告料を集計するプログラムを格納したプログラム格納媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 映像コンテンツを映像コンテンツ提供装置から映像コンテンツ再生装置に提供する映像コンテンツ提供方法において、

前記映像コンテンツ再生装置から前記映像コンテンツ提供装置へ前記映像コンテンツの配信を要求し、

前記映像コンテンツ提供装置において、前記映像コンテンツ再生装置へ前記映像コンテンツを送るとともに、前記映像コンテンツにおける広告映像の挿入位置を検出し、

前記映像コンテンツ提供装置から前記広告映像を有する広告映像提供装置へ前記広告映像の配信を要求し、

前記広告映像提供装置において、前記映像コンテンツに挿入すべき前記広告映像を選択して前記映像コンテンツ提供装置に配信し、

前記映像コンテンツ提供装置から前記映像コンテンツ再生装置へ前記映像コンテンツを配信するときに前記広告映像の挿入位置で前記広告映像を配信することを特徴とする映像コンテンツ提供方法。

【請求項2】 前記映像コンテンツ再生装置において前記映像コンテンツの配信を要求するとき、前記映像コンテンツ提供装置から送られる配信可能な前記映像コンテンツの一覧情報であるタイトルリストに基づいて前記映像コンテンツを選択し配信の要求を行うことを特徴とする請求項1に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項3】 前記映像コンテンツの前記広告映像の挿入位置の検出は、前記映像コンテンツに前記広告映像を挿入する位置を指定する広告映像挿入位置条

件と、前記映像コンテンツに挿入可能な前記広告映像のカテゴリーを指定する広告映像選択条件を有する広告挿入条件データに基づいて行われることを特徴とする請求項 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 4】 前記広告挿入条件データは、前記映像コンテンツに前記広告映像を挿入したとき、前記広告映像を再生する最大時間を指定する広告映像再生条件を有することを特徴とする請求項 3 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 5】 前記映像コンテンツ提供装置において前記広告映像の配信を要求するとき、前記広告映像提供装置へ前記広告挿入条件データを送り、前記広告映像提供装置において前記広告映像を選択するとき、前記広告挿入条件データに基づいて前記広告映像の選択を行うことを特徴とする請求項 3 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 6】 前記映像コンテンツ再生装置において前記映像コンテンツの配信を要求するとき、前記映像コンテンツ提供装置へ前記映像コンテンツを利用する視聴者の視聴者情報を送ることを特徴とする請求項 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 7】 前記映像コンテンツ提供装置において前記広告映像の配信を要求するとき、前記広告映像提供装置へ前記視聴者情報を送り、前記広告映像提供装置において前記広告映像を選択するとき、前記視聴者情報に基づいて前記広告映像の選択を行うことを特徴とする請求項 6 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 8】 前記映像コンテンツ提供装置は、映像コンテンツ配信メイン装置と、複数の映像コンテンツ配信代理装置を有しており、映像コンテンツ配信メイン装置は、前記映像コンテンツ再生装置からの前記映像コンテンツの配信要求により、複数の前記映像コンテンツ配信代理装置から一の前記映像コンテンツ配信代理装置を選択し、選択された前記映像コンテンツ配信代理装置は前記映像コンテンツ再生装置へ前記映像コンテンツの配信を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 9】 前記映像コンテンツ提供装置は、映像コンテンツ配信メイン装置と、複数の映像コンテンツ配信スプリッタノードを有しており、前記映像コ

ンテンツ配信メイン装置に前記映像コンテンツの配信要求があると、前記映像コンテンツ配信メイン装置は、前記映像コンテンツ配信スプリッタノードを選択するとともに、前記映像コンテンツ配信スプリッタノードに前記映像コンテンツを配信し、前記映像コンテンツ配信スプリッタノードから前記映像コンテンツが映像コンテンツ再生装置へ配信されることを特徴とする請求項 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 0】 映像コンテンツを映像コンテンツ提供装置から映像コンテンツ再生装置に提供する映像コンテンツ提供方法において、

前記映像コンテンツ再生装置から前記映像コンテンツ提供装置へ前記映像コンテンツの提供を要求し、

映像コンテンツ提供装置から前記映像コンテンツ再生装置へ要求された前記映像コンテンツを提供し、

前記映像コンテンツ再生装置において、前記映像コンテンツを再生しているときに、前記映像コンテンツにおいて広告映像を挿入する位置を検出し、

前記映像コンテンツ再生装置から挿入する前記広告映像を有する広告映像提供装置へ前記広告映像の配信を要求し、

前記広告映像提供装置において、前記映像コンテンツに挿入すべき前記広告映像を選択して前記映像コンテンツ提供装置に配信し、

前記映像コンテンツ再生装置において、前記映像コンテンツを再生しているときに、配信された前記広告映像の挿入位置になると前記広告映像を再生する

ことを特徴とする映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 1】 前記映像コンテンツ再生装置において、前記映像コンテンツの配信を要求するとき、前記映像コンテンツ提供装置から送られる配信可能な前記映像コンテンツの一覧情報であるタイトルリストに基づいて前記映像コンテンツを選択し配信の要求を行うことを特徴とする請求項 1 0 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 2】 前記映像コンテンツ再生装置における前記映像コンテンツの前記広告映像の挿入位置の検出は、前記映像コンテンツ提供装置から送られるものであって、前記映像コンテンツに前記広告映像を挿入する位置を指定する広

告映像挿入位置条件と、前記映像コンテンツに挿入可能な前記広告映像のカテゴリを指定する広告映像選択条件を有する広告挿入条件データに基づいて行われることを特徴とする請求項 1 0 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 3】 前記広告挿入条件データは、前記映像コンテンツに前記広告映像を挿入したとき、前記広告映像を再生する最大時間を指定する広告映像再生条件を有することを特徴とする請求項 1 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 4】 前記映像コンテンツ再生装置において前記広告映像の配信を要求するとき、前記広告映像提供装置へ前記広告挿入条件データを送り、前記広告映像提供装置において前記広告映像を選択するとき、前記広告挿入条件データに基づいて前記広告映像の選択を行うことを特徴とする請求項 1 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 5】 前記映像コンテンツ再生装置において前記広告映像の配信を要求するとき、前記広告映像提供装置へ前記映像コンテンツを利用する視聴者の視聴者情報を送り、前記広告映像提供装置において前記広告映像を選択するとき、前記視聴者情報に基づいて前記広告映像の選択を行うことを特徴とする請求項 1 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 6】 前記映像コンテンツ提供装置による前記映像コンテンツの提供は、前記映像コンテンツ再生装置に前記映像コンテンツをダウンロード配信することにより行われることを特徴とする請求項 1 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 7】 前記映像コンテンツ提供装置による前記映像コンテンツの提供は、前記映像コンテンツを記録した情報記録媒体を前記映像コンテンツ再生装置へ送ることにより行われることを特徴とする請求項 1 1 に記載の映像コンテンツ提供方法。

【請求項 1 8】 映像コンテンツを有しており、前記映像コンテンツを提供する機能を有する映像コンテンツ提供装置と、

前記映像コンテンツに挿入する広告映像を有しており、前記広告映像を提供する機能を有する広告映像提供装置と、

前記映像コンテンツ及び前記広告映像を再生する機能を有する映像コンテンツ

再生装置と、

を備えており、

前記映像コンテンツ提供装置は、前記広告映像提供装置から送られる前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し、前記映像コンテンツ及び前記広告映像を前記映像コンテンツ再生装置に提供する機能を有することを特徴とする映像コンテンツ提供システム。

【請求項 1 9】 前記映像コンテンツを有しており、前記映像コンテンツを提供する機能を有する映像コンテンツ提供装置と、

前記映像コンテンツに挿入する広告映像を有しており、前記広告映像を提供する機能を有する広告映像提供装置と、

前記映像コンテンツ及び前記広告映像を再生する機能を有する映像コンテンツ再生装置と、

を備えており、

前記映像コンテンツ再生装置は、前記広告映像を前記広告映像提供装置から取得し、前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し再生する機能を有することを特徴とする映像コンテンツ提供システム。

【請求項 2 0】 映像コンテンツを提供する映像コンテンツ提供装置において、

前記映像コンテンツを記憶する映像コンテンツデータベースと、

前記映像コンテンツデータベースに記憶された前記映像コンテンツの一覧情報であるタイトルリストを作成するとともに、前記タイトルリストを提供する機能を有するリスト作成手段と、

前記映像コンテンツデータベースの前記映像コンテンツに広告映像を挿入して配信する機能を有する映像提供手段と

を有することを特徴とする映像コンテンツ提供装置。

【請求項 2 1】 広告映像を有しており、前記広告映像を提供する広告映像提供装置において、

前記広告映像を記憶する広告映像データベースと、

前記広告映像データベースから、提供すべき前記広告映像を選択する広告映像

選択手段と、

前記広告映像選択手段により選択された前記広告映像を提供するとともに、前記広告映像を提供したときの履歴情報である広告提供ログを生成する機能を有する広告映像提供手段と、

前記広告提供ログを記憶する広告提供ログデータベースと
を有することを特徴とする広告映像提供装置。

【請求項 2 2】 映像コンテンツを再生する映像コンテンツ再生装置において、

前記映像コンテンツを取得するとともに、前記映像コンテンツに挿入する広告映像を取得する映像取得手段と、

前記映像取得手段によって取得された前記映像コンテンツを再生するとともに、広告挿入条件データに基づいて前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し再生する機能を有する映像再生手段と

を有することを特徴とする映像コンテンツ再生装置。

【請求項 2 3】 広告映像を提供するときに、その提供履歴である広告提供ログを生成して広告提供ログデータベースに格納し、

前記広告提供ログデータベースの前記広告提供ログに基づいて、前記広告映像の所有者に対して徴収する広告料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告挿入料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告配信料を集計する

ことを特徴とする広告料徴収方法。

【請求項 2 4】 前記料金集計手段は、前記広告提供ログにおける前記広告映像の所有者ごとに割り当てられた広告主 ID に基づいて広告料を徴収することを特徴とする請求項 2 2 に記載の広告料徴収方法。

【請求項 2 5】 前記料金集計手段は、前記広告提供ログにおける前記映像コンテンツの所有者ごとに割り当てられた映像所有者 ID に基づいて広告挿入料を分配することを特徴とする請求項 2 2 に記載の広告料徴収方法。

【請求項 2 6】 前記料金集計手段は、前記広告提供ログにおける前記映像コンテンツの配信事業者ごとに割り当てられた配信事業者 ID に基づいて広告配

信料を分配することを特徴とする請求項 2 2 に記載の広告料徴収方法。

【請求項 2 7】 広告映像を提供するとともに、その提供履歴である広告提供ログを生成し、広告提供ログデータベースに格納する広告映像送信手段と、

前記広告提供ログに基づいて、前記広告映像の所有者に対して徴収する広告料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告挿入料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告配信料を集計する料金集計手段と

を有することを特徴とする広告料集計システム。

【請求項 2 8】 映像コンテンツを提供するための映像コンテンツ提供プログラムを格納したプログラム格納媒体において、

映像コンテンツデータベースに記憶された前記映像コンテンツの一覧情報であるタイトルリストを作成するとともに、前記タイトルリストを提供する機能を有するリスト作成手段と、

前記映像コンテンツデータベースの前記映像コンテンツに広告映像を挿入して配信する機能を有する映像提供手段と

を有することを特徴とする映像コンテンツ提供プログラムを格納したプログラム格納媒体。

【請求項 2 9】 広告映像を提供するための広告映像提供プログラムを格納したプログラム格納媒体において、

広告映像データベースから、提供すべき前記広告映像を選択する広告映像選択手段と、

前記広告映像選択手段により選択された前記広告映像を提供するとともに、前記広告映像を提供したときの履歴情報である広告提供ログを生成する機能を有する広告映像提供手段と、

を有することを特徴とする広告映像提供プログラムを格納したプログラム格納媒体。

【請求項 3 0】 映像コンテンツを再生するための映像コンテンツ再生プログラムを格納したプログラム格納媒体において、

前記映像コンテンツを取得するとともに、前記映像コンテンツに挿入する広告映像を取得する映像取得手段と、

前記映像取得手段によって取得された前記映像コンテンツを再生するとともに、広告挿入条件データに基づいて前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し再生する機能を有する映像再生手段と

を有することを特徴とする映像コンテンツ再生プログラムを格納したプログラム格納媒体。

【請求項 3 1】 広告料を集計する機能を有する広告料集計プログラムを格納したプログラム格納媒体において、

広告映像を提供するとともに、その提供履歴である広告提供ログを生成し、広告提供ログデータベースに格納する広告映像送信手段と、

前記広告提供ログに基づいて、前記広告映像の所有者に対して徴収する広告料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告挿入料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告配信料を集計する料金集計手段と

を有することを特徴とする広告料集計プログラムを格納したプログラム格納媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、たとえば映画、アニメーション等の映像コンテンツを視聴者に提供するための映像コンテンツ提供方法、映像コンテンツ提供システム、映像コンテンツ提供装置、映像コンテンツを提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告映像提供装置、広告映像を提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、映像コンテンツ再生装置、映像コンテンツを再生するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告料集計システム、広告料集計方法及び広告料を集計するプログラムを格納したプログラム格納媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、インターネットにおける広告は、ブラウザと呼ばれる画面上に画像を貼り付けるいわゆるバナー広告と呼ばれるものや、Webサイトのスポンサーシップが主流である。このような広告は、WEB画面の周りに静止画像やアニメシ

ョン画像を表示することにより行われている。また、視聴者や、広告画像の表示回数などで、広告内容を動的に変化させることが行われる場合もある。

【0003】

ところで、近年、電話回線やケーブルテレビ等のインターネットを利用するためのネットワーク回線の高速化に伴い、映画、アニメーション、ライブ中継等の動画からなる映像コンテンツの配信が行われている。ここで、インターネット上で流通している映像コンテンツは、作品として一つの閉じたものとなっている。すなわち、たとえば映像コンテンツがパーソナルコンピュータで利用されるとき、映像コンテンツは1つのファイルとして形成される。そして、このファイルが所定のアプリケーションで再生されると、視聴者が映像コンテンツを見ることができるようになる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上述したように、従来、インターネット上での広告手法は、バナー広告等により静止画やアニメーション画像を表示することにより行われている。そして、いわゆるブラウザにバナー広告を貼り付けても、視聴者がバナー広告を見ない場合があり、十分な広告効果が得られないという問題がある。

また、バナー広告等の広告手法では、たとえば静止画像やアニメーションを表示することしかできないため、高い品質の広告を提供することができない。従って、視聴者がその広告を見て引きつけられるといった高い広告効果を得ることができないという問題がある。

【0005】

さらに、広告映像を一つの映像コンテンツとして提供した場合、この広告映像は一つのファイルを形成することとなる。従って、視聴者がこの広告映像を閲覧するためには、たとえば広告映像のアイコンをクリックする等の明示的な行為を行う必要があり、広告映像が視聴者に閲覧されない場合があるという問題がある。

【0006】

また、上述のように、映像コンテンツは一つのファイルとして閉じた状態で構

成されて。従って、映像コンテンツに広告映像を挿入するには、予め映像コンテンツと広告映像を結合させた一つのファイルを形成することが考えられる。

しかし、映像コンテンツと結合した広告映像は、時間経過とともに古くなってしまい、その広告映像の広告効果が低下してしまう。また、広告映像が更新されるたびに映像コンテンツを再構築すると、映像コンテンツの作成に手間、時間及びコストがかかってしまうという問題がある。

【0007】

そこで本発明は上記課題を解決し、配信された映像コンテンツに広告映像を動的に挿入することにより、広告効果を高めることができる映像コンテンツ提供方法、映像コンテンツ提供システム、映像コンテンツ提供装置、映像コンテンツを提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告映像提供装置、広告映像を提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、映像コンテンツ再生装置、映像コンテンツを再生するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告料集計システム、広告料集計方法及び広告料を集計するプログラムを格納したプログラム格納媒体を提供することを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的は、請求項1の発明によれば、映像コンテンツを映像コンテンツ提供装置から映像コンテンツ再生装置に提供する映像コンテンツ提供方法において、前記映像コンテンツ再生装置から前記映像コンテンツ提供装置へ前記映像コンテンツの配信を要求し、前記映像コンテンツ提供装置において、前記映像コンテンツ再生装置へ前記映像コンテンツを送るとともに、前記映像コンテンツにおける広告映像の挿入位置を検出し、前記映像コンテンツ提供装置から前記広告映像を有する広告映像提供装置へ前記広告映像の配信を要求し、前記広告映像提供装置において、前記映像コンテンツに挿入すべき前記広告映像を選択して前記映像コンテンツ提供装置に配信し、前記映像コンテンツ提供装置から前記映像コンテンツ再生装置へ前記映像コンテンツを配信するときに前記広告映像の挿入位置で前記広告映像を配信する映像コンテンツ提供方法により、達成される。

【 0 0 0 9 】

また、上記目的は、請求項 1 6 の発明によれば、映像コンテンツを有しており、前記映像コンテンツを提供する機能を有する映像コンテンツ提供装置と、前記映像コンテンツに挿入する広告映像を有しており、前記広告映像を提供する機能を有する広告映像提供装置と、前記映像コンテンツ及び前記広告映像を再生する機能を有する映像コンテンツ再生装置と、を備えており、前記映像コンテンツ提供装置は、前記広告映像提供装置から送られる前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し、前記映像コンテンツ及び前記広告映像を前記映像コンテンツ再生装置に提供する機能を有する映像コンテンツ提供システムにより、達成される。

【 0 0 1 0 】

請求項 1 又は請求項 1 6 の構成によれば、映像コンテンツ再生装置が視聴者の操作により映像コンテンツ提供装置に映像コンテンツの配信要求をする。すると、映像コンテンツが映像コンテンツ再生装置に配信され、視聴者は映像コンテンツを利用することができる。このとき、映像コンテンツ提供装置は、映像コンテンツを配信するとともに広告挿入位置を検出し、広告映像の配信要求を広告映像提供装置に行う。

すると、広告映像提供装置は、映像コンテンツに挿入する広告映像を選択して映像コンテンツ提供装置に送る。その後、映像コンテンツ提供装置は、この広告映像を映像コンテンツの広告挿入位置に挿入し、映像コンテンツ再生装置に配信する。

【 0 0 1 1 】

このように、映像コンテンツ提供装置は、広告映像をバナー広告等のように映像コンテンツとは別々のものではなく、映像コンテンツに挿入した状態で視聴者に提供できるようになる。従って、視聴者は、広告映像に視線を合わせやすくなるとともに、映像コンテンツと同様の画質水準の広告映像を利用することができる。また、映像コンテンツに挿入される広告映像は、その都度広告映像提供装置から提供されているものであるため、挿入する広告映像を新しいものに更新する場合、広告映像提供装置内の広告映像のみを更新すればよい。

【 0 0 1 2 】

上記目的は、請求項 1 0 の発明によれば、映像コンテンツを映像コンテンツ提供装置から映像コンテンツ再生装置に提供する映像コンテンツ提供方法において、前記映像コンテンツ再生装置から前記映像コンテンツ提供装置へ前記映像コンテンツの提供を要求し、映像コンテンツ提供装置から前記映像コンテンツ再生装置へ要求された前記映像コンテンツを提供し、前記映像コンテンツ再生装置において、前記映像コンテンツを再生しているときに、前記映像コンテンツにおいて広告映像を挿入する位置を検出し、前記映像コンテンツ再生装置から挿入する前記広告映像を有する広告映像提供装置へ前記広告映像の配信を要求し、前記広告映像提供装置において、前記映像コンテンツに挿入すべき前記広告映像を選択して前記映像コンテンツ提供装置に配信し、前記映像コンテンツ再生装置において前記映像コンテンツを再生しているときに、配信された前記広告映像の挿入位置になると前記広告映像を再生する映像コンテンツ提供方法により、達成される。

【 0 0 1 3 】

また、上記目的は、請求項 1 9 の発明によれば、前記映像コンテンツを有しており、前記映像コンテンツを提供する機能を有する映像コンテンツ提供装置と、前記映像コンテンツに挿入する広告映像を有しており、前記広告映像を提供する機能を有する広告映像提供装置と、前記映像コンテンツ及び前記広告映像を再生する機能を有する映像コンテンツ再生装置と、を備えており、前記映像コンテンツ再生装置は、前記広告映像を前記広告映像提供装置から取得し、前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し再生する機能を有する映像コンテンツ提供システムにより、達成される。

【 0 0 1 4 】

請求項 1 0 又は請求項 1 9 の構成によれば、視聴者が映像コンテンツ再生装置を用いて、映像コンテンツ提供装置に映像コンテンツの配信要求をする。すると、映像コンテンツが映像コンテンツ再生装置に配信され、視聴者は映像コンテンツを利用することができる。映像コンテンツ再生装置は、映像コンテンツを再生しているとき、広告挿入位置を検出し広告映像提供装置に広告映像の配信を要求する。

その後、広告映像提供装置において、映像コンテンツに挿入する広告映像が選択され、映像コンテンツ再生装置に送られる。そして、広告映像が映像コンテンツの広告挿入位置に挿入され、映像コンテンツ再生装置で再生される。

【 0 0 1 5 】

このように、視聴者は、広告映像をバナー広告等のように映像コンテンツとは別々のものではなく、映像コンテンツに挿入した状態で利用することとなる。従って、視聴者は、広告映像に視線を合わせやすくなるとともに、映像コンテンツと同様の画質水準の広告映像を利用することができる。また、映像コンテンツに挿入される広告映像は、その都度広告映像提供装置から配信されているものであるため、挿入する広告映像を新しいものに更新する場合、広告映像提供装置内の広告映像のみを更新すればよい。

【 0 0 1 6 】

上記目的は、請求項 2 0 の発明によれば、映像コンテンツを提供する映像コンテンツ提供装置において、前記映像コンテンツを記憶する映像コンテンツデータベースと、前記映像コンテンツデータベースに記憶された前記映像コンテンツの一覧情報であるタイトルリストを作成するとともに、前記タイトルリストを提供する機能を有するリスト作成手段と、前記映像コンテンツデータベースの前記映像コンテンツに広告映像を挿入して配信する機能を有する映像提供手段とを有する映像コンテンツ提供装置により達成される。

【 0 0 1 7 】

また、上記目的は、請求項 2 9 の発明によれば、映像コンテンツを提供するための映像コンテンツ提供プログラムを格納したプログラム格納媒体において、映像コンテンツデータベースに記憶された前記映像コンテンツの一覧情報であるタイトルリストを作成するとともに、前記タイトルリストを提供する機能を有するリスト作成手段と、前記映像コンテンツデータベースの前記映像コンテンツに広告映像を挿入して配信する機能を有する映像提供手段とを有する映像コンテンツ提供プログラムを格納したプログラム格納媒体により、達成される。

【 0 0 1 8 】

請求項 1 9 又は請求項 2 9 の構成によれば、視聴者からの要求によりリスト作

成手段が提供可能な映像コンテンツのタイトルリストを作成し視聴者に送る。視聴者は、タイトルリストに基づいて利用したい映像コンテンツを選択し、映像提供手段へ映像コンテンツの提供を要求する。すると、映像提供手段は、映像コンテンツデータベースの中から要求のあった映像コンテンツを選択し視聴者に提供する。このとき、映像提供手段は、映像コンテンツの中に広告映像を挿入する位置を検出するとともに、挿入する広告映像を取得する。そして、映像提供手段は、映像コンテンツにおいて広告映像を挿入する位置に、広告映像を挿入し視聴者に提供する。その後広告映像の提供が終了すると、映像提供手段は再び映像コンテンツの提供を再開する。

このように、視聴者は、広告映像をバナー広告等のように映像コンテンツとは別々のものではなく、映像コンテンツに挿入した状態で利用することとなる。従って、視聴者は、広告映像に視線を合わせやすくなるとともに、映像コンテンツと同様の画質水準の広告映像を利用することができる。

【 0 0 1 9 】

上記目的は、請求項 2 1 の発明によれば、広告映像を有しており、前記広告映像を提供する広告映像提供装置において、前記広告映像を記憶する広告映像データベースと、前記広告映像データベースから、提供すべき前記広告映像を選択する広告映像選択手段と、前記広告映像選択手段により選択された前記広告映像を提供するとともに、前記広告映像を提供したときの履歴情報である広告提供ログを生成する機能を有する広告映像提供手段と、前記広告提供ログを記憶する広告提供ログデータベースとを有する広告映像提供装置により、達成される。

【 0 0 2 0 】

また、上記目的は、請求項 3 0 の発明によれば、広告映像を提供するための広告映像提供プログラムを格納したプログラム格納媒体において、広告映像データベースから、提供すべき前記広告映像を選択する広告映像選択手段と、前記広告映像選択手段により選択された前記広告映像を提供するとともに、前記広告映像を提供したときの履歴情報である広告提供ログを生成する機能を有する広告映像提供手段と、を有する広告映像提供プログラムを格納したプログラム格納媒体により、達成される。

【 0 0 2 1 】

請求項 2 1 又は請求項 3 0 の構成によれば、広告映像選択手段に映像コンテンツに挿入すべき広告映像の配信要求があると、広告映像選択手段は、広告映像データベースの中から特定の広告映像を選択し広告映像提供手段に送る。そして、広告映像提供手段は、選択された広告映像を提供する。映像コンテンツに挿入される広告映像は、その都度広告映像提供装置から配信されているものであるため、挿入する広告映像を新しいものに更新する場合、広告映像提供装置内の広告映像のみを更新すればよく、広告映像の一元管理を行うことができる。

【 0 0 2 2 】

また、上記目的は、請求項 2 2 の発明によれば、映像コンテンツを再生する映像コンテンツ再生装置において、前記映像コンテンツを取得するとともに、前記映像コンテンツに挿入する広告映像を取得する映像取得手段と、前記映像取得手段によって取得された前記映像コンテンツを再生するとともに、広告挿入条件データに基づいて前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し再生する機能を有する映像再生手段とを有する映像コンテンツ再生装置により、達成される。

【 0 0 2 3 】

また、上記目的は、請求項 3 1 の発明によれば、映像コンテンツを再生するための映像コンテンツ再生プログラムを格納したプログラム格納媒体において、前記映像コンテンツを取得するとともに、前記映像コンテンツに挿入する広告映像を取得する映像取得手段と、前記映像取得手段によって取得された前記映像コンテンツを再生するとともに、広告挿入条件データに基づいて前記広告映像を前記映像コンテンツに挿入し再生する機能を有する映像再生手段とを有する映像コンテンツ再生プログラムを格納したプログラム格納媒体により、達成される。

【 0 0 2 4 】

請求項 2 2 又は請求項 3 1 の構成によれば、映像取得手段が映像コンテンツをたとえばネットワークや情報記録媒体等を介して入手する。そして、映像再生手段が取得した映像コンテンツを再生する。このとき、映像再生手段は、映像コンテンツのうち広告映像の挿入位置を検出する。そして、映像再生手段は、広告映像の挿入位置を検出すると映像取得手段に広告映像を取得するように要求する。

映像取得手段はたとえばネットワーク等を介して広告映像を取得し、映像再生手段に送る。映像再生手段は、取得した広告映像を映像コンテンツにおける挿入位置に挿入し、再生する。そして、広告映像の再生が終了すると、映像再生手段は映像コンテンツの再生を再開する。

このように、視聴者は、広告映像をバナー広告等のように映像コンテンツとは別々のものではなく、映像コンテンツに挿入した状態で利用することとなる。従って、視聴者は、広告映像に視線を合わせやすくなるとともに、映像コンテンツと同様の画質水準の広告映像を利用することができる。

【 0 0 2 5 】

上記目的は、請求項 2 3 の発明によれば、広告映像を提供するときに、その提供履歴である広告提供ログを生成して広告提供ログデータベースに格納し、前記広告提供ログデータベースの前記広告提供ログに基づいて、前記広告映像の所有者に対して徴収する広告料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告挿入料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告配信料を集計する広告料徴収方法により、達成される。

【 0 0 2 6 】

また、上記目的は、請求項 2 8 の発明によれば、広告映像を提供するとともに、その提供履歴である広告提供ログを生成し、広告提供ログデータベースに格納する広告映像送信手段と、前記広告提供ログに基づいて、前記広告映像の所有者に対して徴収する広告料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告挿入料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告配信料を集計する料金集計手段とを有する広告料集計システムにより、達成される。

【 0 0 2 7 】

また、上記目的は、請求項 3 2 の発明によれば、広告料を徴収する機能を有する広告集計プログラムを格納したプログラム格納媒体において、広告映像を提供するとともに、その提供履歴である広告提供ログを生成し、広告提供ログデータベースに格納する広告映像送信手段と、前記広告提供ログに基づいて、前記広告映像の所有者に対して徴収する広告料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告挿入料と、前記映像コンテンツの所有者に対して分配する広告配信

料を集計する料金集計手段とを有する広告集計プログラムを格納したプログラム格納媒体により、達成される。

【 0 0 2 8 】

請求項 2 3、請求項 2 8 又は請求項 3 2 の構成によれば、広告映像提供装置が広告映像を配信したときに、配信先及び配信日時等の情報を有する広告提供ログを広告提供ログデータベースに記憶していく。そして、料金集計手段は、広告主に徴収する広告料、映像コンテンツ所有者に分配する広告挿入料及び映像コンテンツを配信する映像配信業者に分配する広告配信料を広告提供ログに基づいてそれぞれ算出される。そして、算出結果に基づいて広告主から広告料が徴収され、コンテンツ所有者及び視聴者に分配される。

【 0 0 2 9 】

このように、料金の徴収及び分配が広告映像提供装置により一元管理されることとなる。また、広告主は配信した広告映像の分だけ料金を支払えば良く、効率の良い広告映像の配信を行うことができる。また、広告提供ログに基づいて広告挿入料及び広告配信料が集計されるため、映像コンテンツ所有者及び映像配信事業者が直接広告映像を視聴者に提供しない場合であっても、確実に広告挿入料及び広告配信料が配分されることとなる。

【 0 0 3 0 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好適な実施の形態を添付図面に基づいて詳細に説明する。

なお、以下に述べる実施の形態は、本発明の好適な具体例であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの形態に限られるものではない。

【 0 0 3 1 】

図 1 は本発明の映像コンテンツ提供システムの好ましい実施の形態を示す構成図であり、図 1 0 0 を参照して映像コンテンツ提供システム 1 0 0 について説明する。

映像コンテンツ提供システム 1 0 0 は、映像コンテンツ提供装置 2 0 0、広告

映像提供装置 3 0 0、映像コンテンツ再生装置 4 0 0等を備えている。映像コンテンツ提供装置 2 0 0、広告映像提供装置 3 0 0及び映像コンテンツ再生装置 4 0 0は、互いにインターネット、ケーブルテレビ（CATV）、LAN（ローカルエリアネットワーク）等のネットワーク 1 0によりデータ転送可能になっている。

【 0 0 3 2 】

映像コンテンツ提供装置 2 0 0は、映画、ドラマ、アニメーション等の映像コンテンツMCを有していて、この映像コンテンツMCを映像コンテンツ再生装置 4 0 0に送る機能を有している。

広告映像提供装置 3 0 0は、配信される映像コンテンツMCに挿入する広告映像CMを有しており、この広告映像CMを映像コンテンツ提供装置 2 0 0もしくは映像コンテンツ再生装置 4 0 0に配信するものである。

映像コンテンツ再生装置 4 0 0は、提供された映像コンテンツMC及び広告映像CMを再生し、視聴者に映像コンテンツMC及び広告映像CMを提供するものである。

以下に、映像コンテンツ提供装置 2 0 0、広告映像提供装置 3 0 0及び映像コンテンツ再生装置 4 0 0について具体的に説明する。

【 0 0 3 3 】

図 2 は映像コンテンツ登録装置 2 0 及び映像コンテンツ提供装置 2 0 0 の一例を示す構成図であり、図 1 と図 2 を参照して映像コンテンツ登録装置 2 0 及び映像コンテンツ提供装置 2 0 0 について説明する。

映像コンテンツ登録装置 2 0 は、たとえば映像コンテンツMCの著作権を有するコンテンツ所有者により運営されている。映像コンテンツ登録装置 2 0 は、コンテンツ所有者の映像コンテンツMCを映像コンテンツ提供装置 2 0 0 側に登録する機能を有している。具体的には、映像コンテンツ登録装置 2 0 は、タイトル情報設定手段 2 1、広告挿入条件設定手段 2 2、映像コンテンツ登録手段 2 3、映像コンテンツ記憶手段 2 4 等を備えている。

【 0 0 3 4 】

タイトル情報設定手段 2 1 は、登録する映像コンテンツMCのタイトル情報 I

Tを設定するものである。ここで、タイトル情報ITは、たとえばコンテンツ所有者がキーボードやマウス等の入力手段を用いて生成される。また、タイトル情報設定手段21は、生成したタイトル情報ITを画面表示手段25に出力するとともに、広告挿入条件設定手段22側に出力する機能を有している。

【0035】

ここでタイトル情報ITは、図3（A）に示すように、たとえば映像コンテンツMCのタイトル名IT1及び映像カテゴリー情報IT2を有している。

映像カテゴリー情報IT2は、図3（B）に示すように、映像コンテンツMCの内容ごとに設定された識別番号からなっていて、この識別番号を選択することにより映像カテゴリー情報IT2が設定される。この映像カテゴリー情報IT2は、たとえば後述する広告配信事業者から事前に配布されるものである。

【0036】

広告挿入条件設定手段22は、映像コンテンツMCに挿入される広告映像CMの条件を設定するための広告挿入条件データCIDを生成するものである。ここで、広告挿入条件データCIDは、たとえば映像コンテンツ所有者が画面表示手段25に基づき、特定の情報を入力することにより生成される。

また、広告挿入条件設定手段22は、生成された広告挿入条件データCIDを画面表示手段25に出力するとともに、タイトル情報IT及び広告挿入条件データCIDを映像コンテンツ登録手段23に送る機能を有している。

【0037】

広告挿入条件データCIDは、図4（A）に示すように、挿入位置条件CID1、挿入最長時間条件CID2、広告選択条件CID3を有している。挿入位置条件CID1データは、映像コンテンツMCの中に広告映像CMを挿入可能な位置を指定するものである。この挿入位置条件データCID1が設定されることで、たとえば映像コンテンツにおいてシーンの切り替わるタイミング等の広告映像を挿入してよい場所をコンテンツ所有者が設定することができる。従って、映像コンテンツMCを改編することなく、ユーザが映像コンテンツMCを利用しているとき、映像コンテンツMCの品質を害さないようにすることができる。

【 0 0 3 8 】

挿入最長時間条件 C I D 2 は、映像コンテンツ MC に挿入する広告映像 CM の最長時間を設定するものである。この挿入最長時間条件 C I D 2 が設定されることで、映像コンテンツ MC の流れや視聴者の意識を変えることのない長さの広告映像 CM のみ挿入されるよう制限することができる。

広告映像選択条件 C I D 3 は、映像コンテンツ MC に挿入する広告映像 CM の内容を指定するものであって、挿入条件 C I D 3 a と広告指定条件 C I D 3 b を備えている。さらに、挿入条件 C I D 3 a は広告映像 CM のカテゴリ情報 C I D 3 c と可否フラグ C I D 3 d を有している。

【 0 0 3 9 】

広告カテゴリ情報 C I D 3 c は映像コンテンツ MC 挿入可能な広告映像 CM のカテゴリを示すものであって、たとえば図 4 (B) に示すように各カテゴリごとに異なる識別番号からなっている。この広告カテゴリ情報 C I D 3 c は、たとえば後述する広告配信事業者から事前に配布されるものである。

可否フラグ C I D 3 d は、広告カテゴリ情報 C I D 3 c の処理条件を設定するものである。たとえば図 4 (C) に示すように、可否フラグ C I D 3 d が「 0 」の場合、広告カテゴリ条件 C I D 3 c で指定されたカテゴリの広告映像 CM のみ映像コンテンツ MC に挿入することができるようになる。一方、可否フラグ C I D 3 d が「 1 」のとき、広告カテゴリ情報 C I D 3 c で指定されたカテゴリの広告映像 CM は映像コンテンツ MC に挿入することができないようになる。このように、可否フラグ C I D 3 d は、広告カテゴリ情報 C I D 3 c の処理条件を変える情報を有することとなる。

【 0 0 4 0 】

広告指定条件 C I D 3 b は、特定の広告主から配信される広告映像を挿入するための条件であって、広告主／広告映像 I D および可否フラグ C I D 3 e からなっている。この広告主／広告映像 I D は特定の広告主を指定する情報をからなっていて、可否フラグ C I D 3 e は、上述のように、広告主／広告映像 I D の処理を設定する条件である。

このように、広告挿入条件 C I D 3 a 及び広告指定条件 C I D 3 b が設定され

ることにより、たとえば映像コンテンツMCのカテゴリーと同一又は類似するカテゴリーの広告映像CMを挿入する広告映像CMとして選択することができる。一方、映像コンテンツMCに挿入したくないカテゴリーの広告映像CMを選択することもできるようになる。

【0041】

図2の映像コンテンツ登録手段23は、映像コンテンツ記憶手段24に格納された映像コンテンツMCと、生成されたタイトル情報IT及び広告挿入条件CIDにコンテンツ所有者IDを付して、映像コンテンツ提供装置200側に送る（登録する）機能を有している。ここで、コンテンツ所有者IDはコンテンツ所有者ごとに割り当てられた識別子であり、このコンテンツ所有者IDにより映像コンテンツMCの所有者が認識できるようになる。従って、後述のように、広告挿入料の支払先がこのコンテンツ所有者IDによって識別できるようになる。なお、このコンテンツ所有者IDは、たとえば後述する広告配信事業者から事前に配布されるものである。

【0042】

図2を参照して映像コンテンツ登録装置20の動作例について説明する。

まず、映像コンテンツ所有者等により登録したい映像コンテンツMCが選択され、タイトル情報設定手段21がこの映像コンテンツMCに対応するタイトル情報ITを生成する。また、映像コンテンツ所有者等によりこの映像コンテンツMCに挿入する広告映像CMの条件が設定され、広告挿入条件データ手段22が広告挿入条件データCIDを生成する。

【0043】

その後、生成されたタイトル情報IT及び広告挿入条件データCIDは、映像コンテンツ登録手段23に送られる。そして、映像コンテンツ登録手段23は、一組の映像コンテンツMC、タイトル情報IT及び広告挿入条件データCIDにコンテンツ所有者IDを付して、データベース登録手段211に送る。これにより、映像コンテンツ所有者が有する映像コンテンツMCが映像コンテンツ提供装置200側に登録され、配信可能な状態となる。ここで、映像コンテンツ登録手段23は、たとえばコンテンツ所有者ID、タイトル情報IT及び広告挿入条件

データC I Dと映像コンテンツMCを互いに組み合わせられた（オーサリングされた）データとして登録する。

【0044】

次に、図2を参照して映像コンテンツ提供装置200について説明する。

映像コンテンツ提供装置200は、たとえば映像配信事業者によって運営されていて、データベース登録手段211、映像コンテンツデータベース212、映像提供手段213、リスト作成手段214等を有している。

データベース登録手段211は、映像コンテンツ登録装置20から送られた映像コンテンツMC等にそれぞれ映像コンテンツI Dを付して映像コンテンツデータベース212に格納する機能を有している。また、データベース登録手段211は、付与した映像コンテンツI Dを映像コンテンツ登録装置20に送り、映像コンテンツMCの所有者に映像コンテンツI Dを知らせる機能を有している。

【0045】

ここで、映像コンテンツデータベース212には、図5に示すように、コンテンツ所有者I D、タイトル情報I T、広告挿入条件データC I D及び映像コンテンツMCが一つに組み合わせられて、かつ映像コンテンツI Dを付された状態で格納されている。

【0046】

映像提供手段213は、映像コンテンツデータベース212に格納された映像コンテンツMC等を配信事業者I Dを付して映像コンテンツ再生装置400に提供する機能を有している。この配信事業者I Dは、映像コンテンツを配信する事業者を識別するための識別子である。後述するように、この配信事業者I Dにより映像コンテンツMCを提供した事業者が特定され、広告配信料の分配が行われることとなる。

【0047】

なお、映像提供手段213が映像コンテンツ再生装置400に対して映像コンテンツMCを提供する方法としては、後述するように、ストリーム配信、ダウンロード配信、パッケージ配信、代理ストリーム配信、マルチキャストストリーム配信等があげられる。ダウンロード配信、パッケージ配信を行うとき、映像提供

手段 2 1 3 は映像コンテンツ MC 等を配信し広告映像 CM の配信を行わない。

【 0 0 4 8 】

一方、ストリーム配信、代理ストリーム配信及びマルチキャストストリーム配信を行うとき、映像提供手段 2 1 3 は映像コンテンツ MC の他に広告映像提供装置 3 0 0 から送られる広告映像 CM も映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に送る機能を有している。このとき、配信する広告映像 CM は、広告映像提供装置 3 0 0 から取得した広告映像 CM である。そして、映像提供手段 2 1 3 は広告映像提供装置 3 0 0 から送られた広告映像 CM を、広告挿入条件 C I D に基づいて映像コンテンツ MC の中に挿入し提供する機能を有している。

【 0 0 4 9 】

リスト作成手段 2 1 4 は、映像コンテンツデータベース 2 1 2 に登録されている映像コンテンツ MC のタイトル情報 I T （タイトル名 I T 1）のみからなるタイトルリスト T L を作成し、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に送る機能を有している。視聴者はこのタイトルリスト T L に基づいて利用したい映像コンテンツ MC を選択することとなる。

【 0 0 5 0 】

次に、図 2 を参照して映像コンテンツ提供装置 2 0 0 の動作例について説明する。

データベース登録手段 2 1 1 は、映像コンテンツ登録装置 2 1 から送られた一組のコンテンツ所有者 I D、映像コンテンツ MC、広告挿入条件 C I D 及びタイトル情報 I T に一つの映像コンテンツ I D を付して映像コンテンツデータベース 2 1 2 に格納する。そして、データベース登録手段 2 1 1 は、付与した映像コンテンツ I D をコンテンツ登録装置 2 0 側にする。

【 0 0 5 1 】

映像コンテンツ再生装置 4 0 0 からタイトルリスト T L の要求があると、リスト作成手段 2 1 1 が映像コンテンツデータベース 2 1 2 にあるタイトル名 I T 1 のみを抽出して、タイトルリスト T L を作成する。そして、リスト作成手段 2 1 1 は作成したタイトルリスト T L を映像コンテンツ再生装置 4 0 0 側にする。

【 0 0 5 2 】

その後、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 から映像提供手段 2 1 3 に映像コンテンツMCの配信要求があると、映像提供手段 2 1 3 は配信要求のある映像コンテンツMC等を映像コンテンツデータベース 2 1 2 から取得する。このとき、映像提供手段 2 1 3 は、映像コンテンツMCとともに、広告挿入条件C I Dを映像コンテンツデータベース 2 1 2 から取得する。

そして、映像コンテンツMCがいわゆるダウンロード配信、パッケージ配信される場合、映像提供手段 2 1 3 は、映像コンテンツMC、広告挿入条件C I D及び配信事業者I Dを映像コンテンツ再生装置 4 0 0 側に提供する。

【 0 0 5 3 】

一方、映像コンテンツMCがストリーム配信等される場合、映像提供手段 2 1 3 は、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に対して視聴者情報U Iを要求する。そして、映像提供手段 2 1 3 は、広告映像提供装置 3 0 0 に対して広告映像CMの配信を要求するとともに、視聴者情報U I及び広告挿入条件C I Dを送る。

そして、映像提供手段 2 1 3 は、広告映像提供装置 3 0 0 から送られた広告映像CMを広告挿入条件C I Dに基づいて、配信している映像コンテンツMCに挿入して配信する。

このように、映像コンテンツ提供装置 2 0 0 は、映像コンテンツMCあるいは映像コンテンツMCと広告映像CMが行われ、視聴者に映像コンテンツMCあるいは映像コンテンツMCと広告映像CMを提供する。

【 0 0 5 4 】

図 6 は、広告映像登録装置 3 0 及び広告映像提供装置 3 0 0 の一例を示すブロック図であり、図 1 と図 6 を参照して広告映像登録装置 3 0 及び広告映像提供装置 3 0 0 について説明する。

広告映像登録装置 3 0 はたとえば広告主により運営されていて、広告映像CMを配信するため広告映像提供装置 3 0 0 側に登録する機能を有している。具体的には、広告映像登録装置 3 0 は、広告選択条件設定手段 3 1、広告映像登録手段 3 2、広告映像記憶手段 3 3 等を有している。

【 0 0 5 5 】

広告選択条件設定手段 3 1 は、映像カテゴリー情報 I T 2 および広告カテゴリー情報 C I D 3 c に基づいて、広告情報 C M I 及び広告選択条件 C M C を生成するものである。ここで、広告情報 C M I 及び広告選択条件 C M C は、たとえば広告主が画面表示手段 3 5 を見ながら設定することにより生成される。また、広告映像選択条件設定手段 3 1 は、生成された広告情報 C M I 及び広告選択条件 C M C を広告映像登録手段 3 2 に送る機能を有している。なお、この映像カテゴリー情報 I T 2 および広告カテゴリー情報 C I D 3 c は、たとえば後述する広告配信事業者から事前に配布されるものである。

【 0 0 5 6 】

ここで、広告情報 C M I は、図 7 (A) に示すように、たとえば広告名、広告カテゴリー、広告映像時間、配信最大回数、配信時間からなっている。また、広告選択条件 C M C は、図 7 (B) に示すように、たとえば条件種別 C M C 1、条件データ C M C 2、重み付けデータ C M C 3 からなっている。

【 0 0 5 7 】

条件種別 C M C 1 及び条件データ C M C 2 は、広告映像 C M が映像コンテンツ M C に挿入するときの条件を示すものである。具体的には、図 7 (C) に示すように、条件種別 C M C 1 にはたとえば性別、年代等の条件種別が設定されていて、条件データ C M C 2 にはその条件種別 C M C 1 の内容が設定されている。そして、この条件種別 C M C 1 及び条件データ C M C 2 に適合しない映像コンテンツ M C もしくは視聴者には、この広告映像 C M は配信されないようになる。重み付けデータ C M C 3 は、広告選択条件 C M C を複数設定する場合に、個々の条件種別 C M C 1 及び条件データ C M C 2 の優先度を示すものである。

【 0 0 5 8 】

広告映像登録手段 3 2 は、広告映像記憶手段 3 3 に記憶された広告映像 C M、広告情報 C M I 及び広告選択条件 C M C に広告主 I D を付して広告映像提供装置 3 0 0 側に登録する機能を有している。このとき、広告映像登録手段 3 2 は、たとえば広告主 I D、広告情報 C M I 及び広告選択条件 C M C と広告映像 C M を互いに組み合わせられた（オーサリングされた）データとして登録する。

なお、広告主IDは、たとえば後述する広告配信事業者から事前に配布されるものであり、広告映像CMを提供する広告主の固有の識別子からなっている。そして、広告主IDによって配信された広告映像CMの所有者が認識され、後述するような広告料の徴収が行われる。

【0059】

次に、図6を参照して広告映像登録装置30の動作例について説明する。

まず、広告主が登録したい広告映像CMを選択し、広告情報CMI及び広告選択条件CMCをたとえばキーボード等の入力手段を用いて生成する。その後、生成された広告情報CMI及び広告選択条件CMCは、広告映像登録手段32に送られる。そして、広告映像登録手段32が広告映像CM、広告情報CMI及び広告選択条件CMCにコンテンツ所有者IDを付して、データベース登録手段311に送る。これにより、広告主が有する広告映像CMが広告映像提供装置300側に登録され、配信可能な状態となる。

【0060】

次に、図6を参照して広告映像提供装置300について説明する。

広告映像提供装置300は、映像コンテンツ提供装置200又は映像コンテンツ再生装置400に広告映像CMを配信する機能を有しており、データベース登録手段311、広告映像データベース312、広告映像選択手段313、広告映像提供手段314、広告提供ログデータベース315等を備えている。

【0061】

広告データベース登録手段311は、広告映像登録手段32から送られた広告映像CM、広告情報CMI及び広告映像設定条件CMCに一つの広告映像IDを付して広告データベース312に格納する機能を有している。また、広告データベース登録手段311は付与した広告映像IDを広告映像登録装置30に送り、広告主に知らせる機能を有している。

従って、図8に示すように、広告映像データベース312には、一つの広告映像IDを付した広告主ID、広告情報CMI、広告映像CM及び広告選択条件CMCが組み合わされて格納されることとなる。

【 0 0 6 2 】

広告映像選択手段 3 1 3 は、映像コンテンツ提供装置 2 0 0 もしくは映像コンテンツ再生装置 4 0 0 から送られてきた広告挿入条件データ C I D 及び視聴者情報 U I に基づいて、挿入する広告映像 M C を選択する機能を有している。

具体的には、広告映像選択手段 3 1 3 は、送られた広告挿入条件データ C I D 及び視聴者情報 U I と、広告情報 C M I 及び広告選択条件 C M C を比較し、広告挿入条件 C I D に適合した広告映像 C M を選択する。その後、広告映像選択手段 3 1 3 は、たとえば該当する広告映像 C M を広告映像提供手段 3 1 4 に送る。

【 0 0 6 3 】

広告映像提供手段 3 1 4 は、広告映像選択手段 3 1 3 で選択された広告映像 C M を広告映像データベース 3 1 2 から抽出し、映像コンテンツ提供装置 2 0 0 もしくは映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に送る機能を有している。また広告映像提供手段 3 1 4 は、広告映像 C M の配信記録である広告提供ログ S L を作成し、広告提供ログデータベース 3 1 5 に格納する機能を有している。

ここで図 9 に示すように、広告提供ログ S L はたとえば配信日時、配信事業者 I D、コンテンツ所有者 I D、タイトル名 I T 1、映像カテゴリー情報 C I D 3 c、及び視聴者情報 U I 等からなっている。この広告提供ログ S L を用いて後述するような広告料の徴収等が行われる。

【 0 0 6 4 】

図 1 0 は広告映像提供装置 3 0 0 の動作例を示すフローチャート図であり、図 6 と図 1 0 を参照して広告映像提供装置 3 0 0 の動作例について説明する。

まず、図 6 の広告映像選択手段 3 1 3 に映像コンテンツ提供装置 2 0 0 もしくは映像コンテンツ再生装置 4 0 0 から広告映像 C M の配信要求がされる (S T 1)。このとき、広告映像選択手段 3 1 3 には、広告挿入条件 C I D 及び視聴者情報 U I が送られる。すると、広告映像選択手段 3 1 3 は、配信要求とともに広告挿入条件データ C I D が送られたか否かを判断する (S T 2)。

【 0 0 6 5 】

広告挿入条件データ C I D が送られている場合、広告映像選択手段 3 1 3 は、広告挿入条件データ C I D 及び視聴者情報 U I と、広告情報 C M I 及び広告選択

条件CMCとを比較し、広告映像データベース312から広告映像CMを抽出する(ST3)。一方、広告挿入条件データCIDがない場合には、広告映像選択手段313は、どの広告映像CMを挿入してもよいものと判断する。

【0066】

その後、広告映像選択手段313は、抽出した広告映像CMもしくは広告映像登録データベース312の広告映像CMのうち、提供する広告映像CMの順番を決定する。このとき、広告映像選択手段313は、たとえば重み付けデータCMC3、広告情報CMIにおける配信回数、もしくは広告主ID等により点数換算して、その大きさを判断する(ST4)。そして、広告映像選択手段314は、点数の大きい広告映像CMから順に選択し(ST5)、広告映像提供手段314に送る。

【0067】

広告映像提供手段314は、選択された広告映像CMを映像コンテンツ提供装置200もしくは映像コンテンツ再生装置400に配信する(ST6)。そして、広告映像提供手段314は、このときの広告提供ログSLを作成し、広告提供ログデータベース315に保存する(ST7)。このように、広告映像提供装置300から映像広告CMが配信されるとともに、広告提供ログSLが生成されていく。

【0068】

次に図1を参照して映像コンテンツ再生装置400について説明する。

図1の映像コンテンツ再生装置400は、映像コンテンツ選択手段401、映像取得手段402、映像再生手段403等を備えている。映像コンテンツ選択手段401は、視聴者からの指示入力により映像コンテンツ提供装置200へタイトルリストTLの配信を要求し取得するものである。また、映像コンテンツ選択手段401は、タイトルリストTLをCRTもしくは液晶表示装置等の画面表示手段410に表示させる機能を有していて、視聴者はそのタイトルリストTLから再生したい映像コンテンツMCを選択する。

【0069】

映像取得手段402は、映像コンテンツMC及び広告映像CMを取得し、映像

再生手段403に送る機能を有している。具体的には、映像コンテンツMCがストリーム配信、代理ストリーム配信及びマルチキャストストリーム配信により提供される場合、映像取得手段402は映像コンテンツ提供装置200に対して映像コンテンツMCの配信を要求するとともに視聴者情報UIを送る。すると、映像取得手段402は映像コンテンツ提供装置200から映像コンテンツMCと、それに挿入された広告映像CMを取得する。ここで、視聴者情報UIは、たとえば視聴者の性別、年代、職業、地域等の情報からなっている。

【0070】

一方、映像コンテンツMCがダウンロード配信、パッケージ配信により提供される場合、映像取得手段402は、映像コンテンツ提供装置200から映像コンテンツMCを取得するときに広告挿入条件データCIDも同時に取得し、映像再生手段403に送る機能を有している。

【0071】

映像再生手段403は、映像コンテンツMC及び広告映像CMを再生し、画像表示手段410に出力する機能を有している。また、映像再生手段403は、広告挿入条件CIDに基づいて、映像コンテンツMCにおける広告挿入位置を検出し、広告映像提供装置300に広告映像CMの配信を要求するとともに、視聴者情報UI及び広告挿入条件データCIDを送る機能を有している。

【0072】

次に、図1を参照して、映像コンテンツ再生装置400の動作例について説明する。

まず、視聴者が映像コンテンツMCを入手するため、タイトルリストTLの要求を入力手段により行う。すると、映像コンテンツ選択手段401が、映像コンテンツ提供装置200へタイトルリストTLの配信を要求する。

その後、タイトルリストTLが映像コンテンツ提供装置200から送られると、映像コンテンツ選択手段401は、取得したタイトルリストTLを画面表示手段410に表示させる。視聴者は、画面表示手段410のタイトルリストに基づいて取得したい映像コンテンツMCを選択し入力手段により入力し、取得を要求する。

【 0 0 7 3 】

映像コンテンツMCがストリーム配信等される場合、映像コンテンツ提供装置200から視聴者情報UIの問い合わせが行われ、映像取得手段402は、視聴者情報UIを映像コンテンツ提供装置200に送る。すると、映像コンテンツMCに広告映像CMが挿入された状態で映像取得手段402に送られる。そして、映像取得手段402は、送られた映像コンテンツMC及び広告映像CMを映像再生手段403に送る。そして、映像再生手段403が送られた映像コンテンツMC及び広告映像CMを画面表示手段410に表示させる。

【 0 0 7 4 】

一方、映像コンテンツMCがダウンロード配信、パッケージ配信等される場合、映像コンテンツMC、配信事業者ID及び広告挿入条件CIDがネットワーク10を介して、もしくは情報記録媒体として映像取得手段402に送られる。

そして、映像再生手段403は、提供された映像コンテンツMCを再生するとともに、広告挿入条件CIDに基づいて広告映像挿入位置を検出する。

【 0 0 7 5 】

その後、映像再生手段403が広告挿入位置を検出すると、広告映像提供装置300へ広告映像CMの配信を要求する。そして、映像取得手段402が広告映像提供装置300から広告映像CMを映像コンテンツMCに挿入し、画面表示手段410に出力する。このように、映像コンテンツ再生装置400は、映像コンテンツMC及び広告映像CMを取得し、映像コンテンツMCに広告映像CMを挿入して視聴者に提供することができる。

【 0 0 7 6 】

第1の実施の形態（ストリーム配信の場合）

図11は本発明の映像コンテンツ提供システムの第1の実施の形態を示すブロック図、図12は本発明の映像コンテンツ提供方法の一例を示すフローチャート図をそれぞれ示しており、図11と図12を参照して映像コンテンツ提供方法について説明する。なお、図11と図12に示す映像コンテンツ提供システムおよび映像コンテンツ提供方法はいわゆるストリーム配信で映像コンテンツMCが配信される場合について言及している。

【 0 0 7 7 】

まず、図 1 1 の視聴者の指示入力により、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 から映像コンテンツ提供装置 2 0 0 に対してタイトルリスト T L の要求がなされる（S T 1 1）。すると、映像コンテンツ提供装置 2 0 0 におけるタイトルリスト作成手段 2 1 4 により、映像データベース 2 1 2 からタイトル名 I T 1 が抽出され、タイトルリスト T L が作成する。そして、作成したタイトルリスト T L が、タイトルリスト作成手段 2 1 4 から映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に送られる（S T 1 2）。

【 0 0 7 8 】

次に、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に転送されたタイトルリストに基づいて、ユーザが利用したい映像コンテンツ M C を選択する。その後、映像取得手段 4 0 2 から映像コンテンツ提供装置 2 0 0 へ希望する映像コンテンツ M C の配信が要求される（S T 1 3）。

すると映像コンテンツ提供装置 2 0 0 から映像コンテンツ再生装置 4 0 0 へ、視聴者情報 U I の問い合わせが行われ（S T 1 4）、視聴者情報 U I が映像コンテンツ再生装置 4 0 0 から映像コンテンツ提供装置 2 0 0 へ送られる（S T 1 5）。ここで、映像コンテンツ M C の配信がたとえば会員制である場合、視聴者情報 U I の問い合わせは行わず、視聴者 I D の問い合わせが行われ、視聴者情報データベース 2 1 5 と照合され、視聴者情報 U I が抽出される。

【 0 0 7 9 】

そして、映像コンテンツ提供装置 2 0 0 において、配信要求のある映像コンテンツ M C 及びそれに関連した広告挿入条件データ C I D が、映像提供手段 2 1 3 により映像コンテンツデータベース 2 1 2 から取得される。そして、映像コンテンツ M C が、映像提供手段 2 1 3 により映像コンテンツ再生装置 4 0 0 へと配信される。すると、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 において、送られた映像コンテンツ M C のデータから順に映像再生手段 4 0 3 によって再生される。

【 0 0 8 0 】

映像コンテンツ提供装置 2 0 0 において、映像コンテンツ M C が配信されているとき、広告挿入条件データ C I D に基づいて広告映像挿入位置が映像提供手段

213により走査される(ST16)。そして、広告挿入位置が検出されると、広告映像提供装置300に広告映像CMの配信が要求される(ST17)。このとき、広告映像提供装置300には広告映像CMの配信要求とともに、広告挿入条件データCID及び視聴者情報UIが送られる。

【0081】

すると、広告映像提供装置300において、転送された広告挿入条件データCID及び視聴者情報UIに基づいて挿入する広告映像CMが広告映像選択手段313により選択される。そして、選択された広告映像CMが広告映像提供手段314により映像コンテンツ提供装置200側にたとえばストリーム配信される(ST18)。

配信された広告映像CMは映像コンテンツMCにおける広告挿入位置に挿入され、映像コンテンツ再生装置400にストリーム配信される(ST19)。そして、映像コンテンツ提供装置200は、広告映像CMのストリーム配信が終了すると、映像コンテンツMCの配信を再開する(ST20)。

【0082】

このように、予め映像コンテンツMCに広告映像CMを挿入した一つのファイルを作成しなくても、映像コンテンツMCの特定の位置に広告映像CMを挿入することができる。従って、ユーザは映像コンテンツMCを利用している最中に広告映像CMを視聴することとなるため、広告効果の向上を図ることができる。さらに、広告映像提供装置300から送られる広告映像CMは、動的に変化させることで広告映像CMの陳腐化を防止することができる。このため、常に新しい広告映像CMを視聴者に提供することができ、広告効果の向上を図ることができる。

【0083】

また、広告映像CMのカテゴリーは、映像コンテンツMCのカテゴリー等に適合するように設定することができるため、配信した映像コンテンツMCに関連するカテゴリーの広告映像CMを配信することができるようになる。従って、無作為に広告映像CMを流す場合に比べて、高い広告効果を得ることができる。

【 0 0 8 4 】

さらに、広告映像CMは、映像コンテンツ再生装置400に設定された視聴者情報を参照し選択されているため、視聴者が広告映像CMの取捨選択及びそのカテゴリーの選択を行うことができる。よって、各ユーザごとに異なる広告映像CMを配信することができ、各視聴者に適合し広告効果の高い広告映像CMを配信することができるようになる。

【 0 0 8 5 】

第2の実施の形態（ダウンロード配信の場合）

図13は本発明の映像コンテンツ提供システムの第2の実施の形態を示すブロック図、図14は本発明の映像コンテンツ提供方法の第2の実施の形態を示すフローチャート図をそれぞれ示しており、図13と図14を参照して映像コンテンツ提供方法について説明する。なお、図13と図14は映像コンテンツMCを映像コンテンツ再生装置400にダウンロードするいわゆるダウンロード配信の場合について言及する。

【 0 0 8 6 】

まず、図13の視聴者の指示入力により、映像コンテンツ再生装置400から映像コンテンツ提供装置200に対してタイトルリストの要求がなされる（ST21）。すると、映像コンテンツ提供装置200におけるタイトルリスト作成手段214が、映像データベース212からタイトル名IT1を抽出しタイトルリストを作成する。そして、作成したタイトルリストがタイトルリスト作成手段214から映像コンテンツ再生装置400に送られる（ST22）。

【 0 0 8 7 】

次に、映像コンテンツ再生装置400に転送されたタイトルリストに基づいて、ユーザが利用したい映像コンテンツMCを選択する。その後、映像取得手段402から映像コンテンツ提供装置200へ希望する映像コンテンツMCの配信が要求される（ST23）。

そして、映像コンテンツ提供装置200において、配信要求のある映像コンテンツMC及び広告挿入条件データCIDが、映像提供手段213により映像コンテンツデータベース212から取得される。そして、映像提供手段213は、映

像コンテンツMC、広告挿入条件C I D及び配信事業者I Dを映像コンテンツ再生装置4 0 0へ配信する（S T 2 4）。

【0 0 8 8】

その後、視聴者が映像再生手段4 0 3を起動して、ダウンロードした映像コンテンツMCを再生する。このとき、広告挿入位置が、広告挿入条件データC I Dに基づいて映像再生手段4 0 3により走査される（S T 2 5）。広告挿入位置が検出されると、映像取得手段4 0 2から広告映像提供装置3 0 0に対して広告映像CMの配信要求が行われる（S T 2 6）。このとき、配信事業者I D、広告挿入条件データC I D及び視聴者情報U Iが映像コンテンツ再生装置4 0 0から広告映像提供装置3 0 0に対して提供される。

【0 0 8 9】

すると、広告映像提供装置3 0 0において、配信事業者I D、広告挿入条件データC I D及び視聴者情報U Iに基づいて、配信する広告映像CMが広告映像選択手段3 1 3により選択される。そして、選択された広告映像CMが、広告映像提供手段3 1 4から映像コンテンツ再生装置4 0 0へストリーム配信される（S T 2 7）。

配信された広告映像CMは、映像再生手段4 0 2により再生され画面表示手段4 1 0に表示される（S T 2 8）。そして広告映像CMの再生が終了すると、映像コンテンツMCの再生が再開される。

【0 0 9 0】

このように、映像コンテンツMCだけをダウンロードした場合であっても、広告挿入条件データ等を用いて別途広告映像CMの取得を行い、映像コンテンツMCに挿入することができる。従って、視聴者が映像コンテンツMCを利用している最中に広告映像CMを提供することができる。

【0 0 9 1】

第3の実施の形態（パッケージ配信の場合）

図1 5は本発明の映像コンテンツ提供システムの第3の実施の形態を示すブロック図、図1 6は本発明の映像コンテンツ提供方法の第3の実施の形態を示すフローチャート図をそれぞれ示しており、図1 5と図1 6を参照して映像コンテン

ツ提供方法について説明する。なお、図15と図16において、映像コンテンツMCが光ディスク、光磁気ディスク、磁気ディスク等の情報記録媒体として配信されるいわゆるパッケージ配信の場合について言及する。

【0092】

まず、図15の視聴者の指示入力により、映像コンテンツ再生装置400から映像コンテンツ提供装置200に対してタイトルリストTLの要求がなされる（ST31）。すると、映像コンテンツ提供装置200におけるタイトルリスト作成手段214により、映像データベース212からタイトル名IT1が抽出され、タイトルリストTLが作成される。そして、タイトルリストTLがタイトルリスト作成手段214から映像コンテンツ再生装置400に送られる（ST32）。

【0093】

次に、映像コンテンツ再生装置400に転送されたタイトルリストTLに基づいて、ユーザが利用したい映像コンテンツMCを選択する。その後、映像取得手段402から映像コンテンツ提供装置200へ希望する映像コンテンツMCの配信が要求される（ST33）。

すると、映像コンテンツ提供装置200において、選択された映像コンテンツMC及びこのタイトル情報IT、広告挿入条件データCID及び配信事業者IDがたとえば光ディスク等の情報記録媒体に複写される（ST34）。そして、この情報記録媒体が映像コンテンツ提供装置200から視聴者へと配送される。

【0094】

配送された情報記録媒体が映像再生手段403により再生される。このとき、広告挿入条件データCIDに基づいて広告挿入位置が映像再生手段403により走査される（ST35）。そして、広告挿入位置が検出されると、広告映像CMの配信が要求されるとともに、広告挿入条件データCID及び視聴者情報UIが映像取得手段402から広告提供装置300へ送られる（ST36）。

【0095】

すると、広告映像提供装置300において、配信事業者ID、広告挿入条件データCID及び視聴者情報UIに基づいて、配信する広告映像CMが広告映像選

択手段 3 1 3 により選択される。そして、選択された広告映像 CM が広告映像提供手段 3 1 4 から映像コンテンツ再生装置 4 0 0 へ配信される (S T 3 7)。

配信された広告映像 CM は、映像再生手段 4 0 2 により再生され画面表示手段 4 1 0 に表示される。そして広告映像 CM の再生が終了すると、映像コンテンツ MC の再生が再開される (S T 3 8)。

【 0 0 9 6 】

このように、映像コンテンツ MC を情報記録媒体に記録して配信するいわゆるパッケージ配信の場合であっても、一つのファイルとして生成された映像コンテンツ MC に広告映像 CM を挿入することができる。

【 0 0 9 7 】

第 4 の実施の形態 (代理ストリーム配信の場合)

図 1 7 は本発明の映像コンテンツ提供システムの第 4 の実施の形態を示すブロック図、図 1 8 は本発明の映像コンテンツ提供方法の第 4 の実施の形態を示すフローチャート図をそれぞれ示しており、図 1 7 と図 1 8 を参照して映像コンテンツ提供方法について説明する。なお、図 1 7 と図 1 8 において、映像コンテンツ MC が複数の映像コンテンツ配信代理装置 2 3 0 によって配信されるいわゆる代理ストリーム配信の場合について言及する。

【 0 0 9 8 】

また、図 1 7 における映像コンテンツ提供システム 1 0 0 において、映像コンテンツ提供装置 2 0 0 は、映像コンテンツ配信メイン装置 2 2 0 と複数の映像コンテンツ配信代理装置 2 3 0 を有している。そして、映像コンテンツ配信メイン装置 2 2 0 と映像コンテンツ配信代理装置 2 3 0 はそれぞれ同一の構成を有している。映像コンテンツ配信メイン装置 2 2 0 は、主として映像コンテンツ再生装置 4 0 0 からの配信要求を受けるものであり、映像コンテンツ配信代理装置 2 3 0 は、主として映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に映像コンテンツ MC を配信するものである。

【 0 0 9 9 】

まず、図 1 7 の視聴者の指示入力により、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 から映像コンテンツ提供装置 2 0 0 に対してタイトルリスト T L の要求がなされる (

ST41)。すると、タイトル名IT1を抽出したタイトルリストTLが、映像コンテンツ配信メイン装置200におけるタイトルリスト作成手段214により作成する。そして、作成されたタイトルリストTLは、タイトルリスト作成手段214から映像コンテンツ再生装置400に送られる(ST42)。

【0100】

次に、映像コンテンツ再生装置400に転送されたタイトルリストTLに基づいて、ユーザが利用したい映像コンテンツMCを選択する。その後、映像取得手段402から映像コンテンツ提供装置200へ希望する映像コンテンツMCの配信が要求される(ST43)。

すると、映像コンテンツ配信メイン装置220は、複数の映像コンテンツ配信代理装置230のうち、たとえば最も映像コンテンツ再生装置400に近い映像コンテンツ配信代理装置230を割り当てる。そして、映像コンテンツ配信メイン装置220は、その映像コンテンツ配信代理装置230に映像コンテンツMCの配信を指示する(ST44)。

【0101】

すると映像コンテンツ配信代理装置230から映像コンテンツ再生装置400へ、視聴者情報UIの問い合わせが行われ(ST45)、視聴者情報UIが映像コンテンツ再生装置400から映像コンテンツ配信代理装置230へ送られる(ST46)。ここで、映像コンテンツMCの配信がたとえば会員制である場合、視聴者情報UIの問い合わせは行わず、視聴者IDの問い合わせが行われ、視聴者情報データベース215と照合され、視聴者情報UIが抽出される。

すると、映像コンテンツ配信代理装置230において、配信する映像コンテンツMCが映像コンテンツデータベース212から選択され、映像コンテンツMCが映像コンテンツ再生装置400へストリーム配信される。このとき、広告挿入条件データCIDに基づいて、映像コンテンツMCにおける広告挿入位置が映像提供手段213により走査される(ST47)。

【0102】

そして、広告挿入位置が検出されると、広告映像提供装置300に広告映像CMの配信が要求される(ST48)。このとき、広告映像提供装置300には広

告映像CMの配信要求とともに、広告挿入条件データCID、視聴者情報UI及び配信事業者IDが送られる。

すると、広告映像提供装置300において、送られた広告挿入条件データCID、視聴者情報UI及び広告選択条件CMCに基づいて、配信する広告映像CMが広告映像手段313により選択される。そして、選択された広告映像CMが広告映像提供手段314から映像コンテンツ配信代理装置230へストリーム配信される(ST49)。

【0103】

配信された広告映像CMは映像コンテンツMCにおける広告挿入位置に挿入され、映像コンテンツ再生装置400にストリーム配信される(ST50)。そして、映像コンテンツ配信代理装置230は、広告映像CMのストリーム配信が終了すると、映像コンテンツMCの配信を再開する(ST51)。

【0104】

このように、映像コンテンツMCを映像コンテンツ再生装置400に配信するときに、映像コンテンツ配信代理装置230を用いた場合であっても、映像コンテンツMCに広告映像CMを挿入することができる。また、映像コンテンツ配信代理装置230により映像コンテンツMC及び広告映像CMを配信することにより、高速で映像コンテンツMC及び広告映像CMを映像コンテンツ再生装置400に提供することができるようになる。

【0105】

第5の実施の形態（マルチキャストストリーム配信の場合）

図19は本発明の映像コンテンツ提供システムの第5の実施の形態を示すブロック図、図20は本発明の映像コンテンツ提供方法の第5の実施の形態を示すフローチャート図をそれぞれ示しており、図19と図20を参照して映像コンテンツ提供方法について説明する。なお、図19と図20において、映像コンテンツMCが複数の映像コンテンツ配信スプリッタノードによって配信されるいわゆるマルチキャストストリーム配信の場合について言及する。

【0106】

ここで、図19の映像コンテンツ提供システム100は、映像コンテンツ配信

メイン装置 1 2 2 0 と複数の映像コンテンツ配信スプリッタノード 1 2 3 0 を有している。映像コンテンツ配信メイン装置 1 2 2 0 は、主として映像コンテンツ再生装置 4 0 0 からの配信要求を受けるものであり、映像コンテンツ配信スプリッタノード 1 2 3 0 は、主として映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に映像コンテンツ MC を配信するものである。そして、映像コンテンツ配信スプリッタノード 1 2 3 0 は、映像コンテンツデータベース 2 1 2 を有していないため、映像コンテンツ配信メイン装置 1 2 2 0 から配信される映像コンテンツ MC を映像コンテンツ再生装置 4 0 0 側に配信するものである。

【 0 1 0 7 】

まず、図 1 9 の視聴者の指示入力により、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 から映像コンテンツ提供装置 2 0 0 に対してタイトルリストの要求がなされる（S T 6 1）。すると、タイトル名 I T 1 を抽出したタイトルリストが、映像コンテンツ配信メイン装置 2 0 0 におけるタイトルリスト作成手段 2 1 4 により作成する。そして、作成されたタイトルリストは、タイトルリスト作成手段 2 1 4 から映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に送られる（S T 6 2）。

【 0 1 0 8 】

次に、映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に転送されたタイトルリストに基づいて、ユーザが利用したい映像コンテンツ MC を選択する。その後、映像取得手段 4 0 2 から映像コンテンツ提供装置 2 0 0 へ希望する映像コンテンツ MC の配信が要求される（S T 6 3）。

すると、映像コンテンツ配信メイン装置 1 2 2 0 は、複数の映像コンテンツ配信スプリッタノード 2 3 0 のうち、たとえば最も映像コンテンツ再生装置 4 0 0 に近い映像コンテンツ配信スプリッタノード 2 3 0 を割り当てる。これにより、視聴者に対して高速で映像コンテンツ MC を配信することができる。そして、映像コンテンツ提供装置 2 0 0 から割り当てた映像コンテンツ配信スプリッタノード 1 2 3 0 に対して要求された映像コンテンツ MC 及び広告挿入条件 C I D が受け渡される（S T 6 4）。

【 0 1 0 9 】

映像コンテンツ MC が受け渡されている間、選択された映像コンテンツ配信ス

ブリッタノード1230は、映像コンテンツ再生装置400に対して視聴者情報UIの配信を要求する(ST65)。すると、映像コンテンツ再生装置400から映像コンテンツ配信スプリッタノード1230へ視聴者情報UIが配信される(ST66)。ここで、映像コンテンツMCの配信がたとえば会員制である場合、視聴者情報UIの問い合わせは行わず、視聴者IDの問い合わせが行われ、視聴者情報データベース215と照合され、視聴者情報UIが抽出される。

【0110】

そして、映像コンテンツMCは、映像コンテンツ配信スプリッタノード1230から映像コンテンツ再生装置400にストリーム配信される(ST67)。このとき、広告挿入条件データCIDに基づいて、映像コンテンツMCにおける広告挿入位置が映像提供手段213により走査される。

【0111】

そして、広告挿入位置が検出されると、広告映像提供装置300に広告映像CMの配信が要求される(ST68)。このとき、広告映像提供装置300には広告映像CMの配信要求とともに、広告挿入条件データCID、視聴者情報UIが送られる。

すると、広告映像提供装置300において、送られた広告挿入条件データCID、視聴者情報UI及び広告選択条件CMCに基づいて、配信する広告映像CMが広告映像手段313により選択される。そして、選択された広告映像CMが広告映像提供手段314から映像コンテンツ配信スプリッタノード1230へストリーム配信される(ST69)。

【0112】

配信された広告映像CMは映像コンテンツMCにおける広告挿入位置に挿入され、映像コンテンツ再生装置400にストリーム配信される(ST70)。そして、映像コンテンツ配信スプリッタノード1230は、広告映像CMのストリーム配信が終了すると、映像コンテンツMCの配信を再開する(ST71)。

【0113】

このように、映像コンテンツMCを映像コンテンツ再生装置400に配信するときに、映像コンテンツ配信スプリッタノード1230を用いた場合であっても

、映像コンテンツMCに広告映像CMを挿入することができる。また、映像コンテンツ配信スプリッタノード1230により映像コンテンツMC及び広告映像CMを配信することにより、高速で映像コンテンツMC及び広告映像CMを映像コンテンツ再生装置400に提供することができるようになる。

【0114】

ところで、上述した映像コンテンツ提供方法のように、映像コンテンツMCに広告映像CMを挿入した場合、映像コンテンツMCの所有者に映像コンテンツMCに広告映像CMを挿入したことによる広告挿入料が発生する。また、上述のように、広告映像CMの配信は映像コンテンツ提供装置200により行われることがあるため、映像配信業者に広告映像CMを配信したことによる広告配信料が発生することがある。そして、広告主には、広告映像CMが配信されたことによる広告料が発生する。

【0115】

ここで、上記各実施の形態において、視聴者への広告映像CMの配信は、映像コンテンツ提供装置200から行われ、あるいは広告映像提供装置300から行われる場合がある。そこで、広告料、広告配信料及び広告挿入料の集計を一元管理する必要が生じる。

【0116】

図21は本発明の広告料集計システムの一例を示すブロック図であり、図21を参照して広告料集計システム600について説明する。

広告料集計システム600は、たとえば広告映像提供装置300内に構築されていて、たとえば広告映像配信事業者によって運営されている。映像コンテンツ配信事業者630は図1の映像コンテンツ提供装置200を運営している事業者であり、コンテンツ所有者640は映像コンテンツ提供装置200に登録された映像コンテンツMCの所有者である。

【0117】

広告料集計システム600において、広告提供ログ集計手段601は、広告提供ログデータベース315の広告提供ログSLを集計して、広告料、広告配信料及び広告挿入料を集計する機能を有している。なお、広告提供ログSLは、図9

に示すように、たとえば配信日時、配信事業者ID、コンテンツ所有者ID、タイトル名、映像コンテンツMCのカテゴリー、視聴者の性別、年代、職業、地域等からなっている。

【 0 1 1 8 】

ここで、広告提供ログ集計手段601は、広告提供ログSLにおける広告映像IDに基づいて配信した広告主及び配信回数を特定し、広告主620に請求すべき広告料を集計する。また、広告提供ログ集計手段601は、広告提供ログSLにおける配信事業者IDに基づいて、映像コンテンツ配信事業者に分配すべき広告配信料を集計する。さらに、広告提供ログ集計手段601は、広告提供ログSLのコンテンツ所有者IDに基づいて、コンテンツ所有者に分配すべき広告挿入料を集計する。また、広告提供ログ集計手段601は、広告提供ログSLの広告映像IDの数に基づいて、広告配信映像事業者に分配すべき広告配信手数料を集計する。

そして、集計結果に基づいて映像コンテンツ所有者、映像コンテンツ配信事業者及び広告映像配信事業者にそれぞれ広告挿入料、広告配信料及び広告配信手数料が分配される。一方、広告主には広告料が徴収される。

【 0 1 1 9 】

このように、映像広告CMの配信先が映像コンテンツ提供装置200もしくは映像コンテンツ再生装置400のいずれの場合であっても、広告提供ログSLに基づいて広告料の徴収等が行われるため、広告料等の算出を容易に行うことができる。また、映像広告CMの配信回数等が広告主等に異なる場合であっても、広告提供ログSLの広告主IDに基づいて広告料を算出することができるため、容易に広告料等の集計を行うことができる。

【 0 1 2 0 】

上記各実施の形態によれば、インターネット等のネットワーク10を利用して配信された映画などの映像コンテンツMCを再生する時、映像の先頭、末尾、途中に広告映像CMを動的に挿入することができるようになる。これにより、効果的な広告・宣伝を行うことが出来、またコンテンツ所有者や配信事業者は広告収入を得ることが出来る。すなわち、映像コンテンツ提供装置200が、広告映像

をバナー広告等のように映像コンテンツとは別々のものではなく、映像コンテンツMCに挿入した状態で視聴者に提供することにより、視聴者は広告映像CMに視線を合わせやすくなり広告効果の向上を図ることができる。

【0121】

また、広告映像CMは映像コンテンツMCを再生するための映像再生手段403で再生されるため、広告映像CMの画質水準を向上させ、広告効果を高めることができる。

さらに、広告主はスポンサードする番組（映像コンテンツMC）を選択する必要がなくなるため、広告映像を配信するための作業の効率化を図ることができる。また、広告映像CMは視聴者情報UIに基づいて配信されるため、広告主はターゲットとする視聴者に対して効果的な広告・宣伝を行うことができる。さらに、広告主が広告映像CMの内容を更新したいときは、広告映像提供装置300にある広告映像CMを更新するだけで良く、従来のように各映像コンテンツ提供装置（映像配信事業者）にそれぞれ配る必要がなくなる。このように、広告映像CMを広告映像提供装置300により一元管理することで、広告映像CMの管理が容易になる。

【0122】

また、映像コンテンツ所有者は、広告挿入条件CIDを設定していれば自動的に広告映像CMが挿入されることになるため、いわゆるスポンサー集めといった活動をする必要がなくなる。このため、映像コンテンツ所有者は映像制作に注力することができるようになる。さらに、映像コンテンツ所有者は、映像コンテンツMCを配信することで、広告挿入料を取得することができるため、映像コンテンツの配信が映像制作会社から個人まで幅広く行われることが可能になり、インターネット等のネットワーク上での映像コンテンツMCの流通を促進することができる。

【0123】

また、映像コンテンツMCの配信は視聴者から配信要求がある場合に行われるため、映像配信事業者は従来のテレビジョン放送局のような映像送出のスケジューリングを行う必要がなくなり、映像送出の作業の軽減を図ることができる。ま

た、上述したように、映像コンテンツを映像コンテンツ再生装置 4 0 0 側（視聴者側）に送るときに様々な方法が利用できるため、視聴者及び映像配信事業者にとって最も扱いやすい形態で映像コンテンツMCの流通を図ることができる。

【 0 1 2 4 】

さらに、従来のテレビジョン放送のように、特定の時間帯にならなければ映像コンテンツMCを利用できないのとは異なり、視聴者が配信要求をすれば映像コンテンツMCを入手することができるようになる。従って視聴者による映像コンテンツMCの利便性を向上させることができる。また、映像コンテンツMCに挿入される広告映像CMは、視聴者情報UIに基づいて選択されたものであるため、視聴者に興味のある広告映像CMのみを閲覧することができる。

【 0 1 2 5 】

また、図 2 1 に示すような広告料集計システム 6 0 0 により、料金の徴収及び分配が広告映像提供装置 3 0 0 により一元管理されることとなる。従って、広告料の徴収・分配を容易に行うことが出来る。また、広告主 6 2 0 は配信した広告映像の分だけ料金を支払えば良く、効率の良い広告映像CMの配信を行うことができる。また、広告提供ログSLに基づいて広告挿入料及び広告配信料が集計されるため、映像コンテンツ所有者 6 4 0 及び映像配信事業者 6 3 0 が直接広告映像CMを視聴者に提供しない場合であっても、確実に広告挿入料及び広告配信料が配分されることとなる。

【 0 1 2 6 】

本発明の実施の形態は、上記各実施の形態に限定されない。

たとえば、図 2 の映像コンテンツ提供装置 2 0 0 はたとえば映像配信事業者により運営され、映像コンテンツ登録装置 2 0 はたとえば映像コンテンツ所有者によって運営されているが、同一の事業者もしくは個人等によって運営されるようにしても良い。

同様に、図 2 の広告映像提供装置 3 0 0 はたとえば広告映像配信事業者により運営され、広告映像登録装置 3 0 はたとえば広告主によって運営されているが、同一の事業者もしくは個人等によって運営されるようにしても良い。

【 0 1 2 7 】

なお、図 1 のような映像コンテンツ提供装置 2 0 0、広告映像提供装置 3 0 0 及び映像コンテンツ再生装置 4 0 0 の構成は、たとえばパーソナルコンピュータのハードウェア資源を用いて構成されており、ハードディスク装置等の補助記憶装置に記憶されたプログラムを CPU（中央演算ユニット）により実行することで実現される。また、以下の一連の処理を実行するプログラムをコンピュータにインストールし、コンピュータによって実行可能な状態とするために用いられるプログラム格納媒体としては、たとえばフロッピーディスク、CD-ROM、DVD などのパッケージメディアのみならず、プログラムが一時的もしくは永続的に格納される半導体メモリや磁気ディスクなどで実現しても良い。これらプログラム格納媒体にプログラムを格納する手段としては、ローカルエリアネットワークやインターネット、デジタル衛星放送などの有線及び無線通信媒体を利用してもよく、ルータやモデム等の各種通信インターフェイスを介在させて格納するようにしてもよい。

【 0 1 2 8 】

また、映像コンテンツを提供するプログラムは、たとえば映像コンテンツ MC と広告挿入条件 CID 及びタイトル情報 IT 等の関連付けを行うことができるオーサリングソフトウェアであって、広告映像を提供するプログラムを格納したプログラムは、たとえば広告映像 CM と広告選択条件 CMC 及び広告情報 CMI 等の関連付けを行うことができるオーサリングソフトウェアである。

【 0 1 2 9 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、配信された映像コンテンツに広告映像を動的に挿入することにより、広告効果を高めることができる映像コンテンツ提供方法、映像コンテンツ提供システム、映像コンテンツ提供装置、映像コンテンツを提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告映像提供装置、広告映像を提供するプログラムを格納したプログラム格納媒体、映像コンテンツ再生装置、映像コンテンツを再生するプログラムを格納したプログラム格納媒体、広告料集計システム、広告料集計方法及び広告料を集計するプログラムを格納し

たプログラム格納媒体を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の映像コンテンツ提供システムの好ましい実施の形態を示すブロック図

【図 2】

本発明の映像コンテンツ提供装置の好ましい実施の形態を示すブロック図。

【図 3】

図 2 の映像コンテンツ登録装置において生成されるタイトル情報の一例を示す図。

【図 4】

図 2 の映像コンテンツ登録装置において生成される広告挿入条件データの一例を示す図。

【図 5】

図 2 の映像コンテンツ提供装置における映像コンテンツデータベース内のデータ構造を示す図。

【図 6】

本発明の広告映像提供装置の好ましい実施の形態を示すブロック図。

【図 7】

図 6 の広告映像登録装置において生成される広告情報及び広告選択条件の一例を示す図。

【図 8】

図 6 の広告映像提供装置における広告映像データベース内のデータ構造を示す図。

【図 9】

図 6 の広告映像提供装置における広告提供ログデータベース内のデータ構造を示す図。

【図 1 0】

図 6 の広告映像提供装置の動作例を示すフローチャート図。

【図 1 1】

本発明の映像コンテンツ提供システムにおける第 1 の実施の形態を示すブロック図。

【図 1 2】

本発明の映像コンテンツ提供方法における第 1 の実施の形態を示すフローチャート図。

【図 1 3】

本発明の映像コンテンツ提供システムにおける第 2 の実施の形態を示すブロック図。

【図 1 4】

本発明の映像コンテンツ提供方法における第 2 の実施の形態を示すフローチャート図。

【図 1 5】

本発明の映像コンテンツ提供システムにおける第 3 の実施の形態を示すブロック図。

【図 1 6】

本発明の映像コンテンツ提供方法における第 3 の実施の形態を示すフローチャート図。

【図 1 7】

本発明の映像コンテンツ提供システムにおける第 4 の実施の形態を示すブロック図。

【図 1 8】

本発明の映像コンテンツ提供方法における第 4 の実施の形態を示すフローチャート図。

【図 1 9】

本発明の映像コンテンツ提供システムにおける第 5 の実施の形態を示すブロック図。

【図 2 0】

本発明の映像コンテンツ提供方法における第 5 の実施の形態を示すフローチャ

ート図。

【図 2 1】

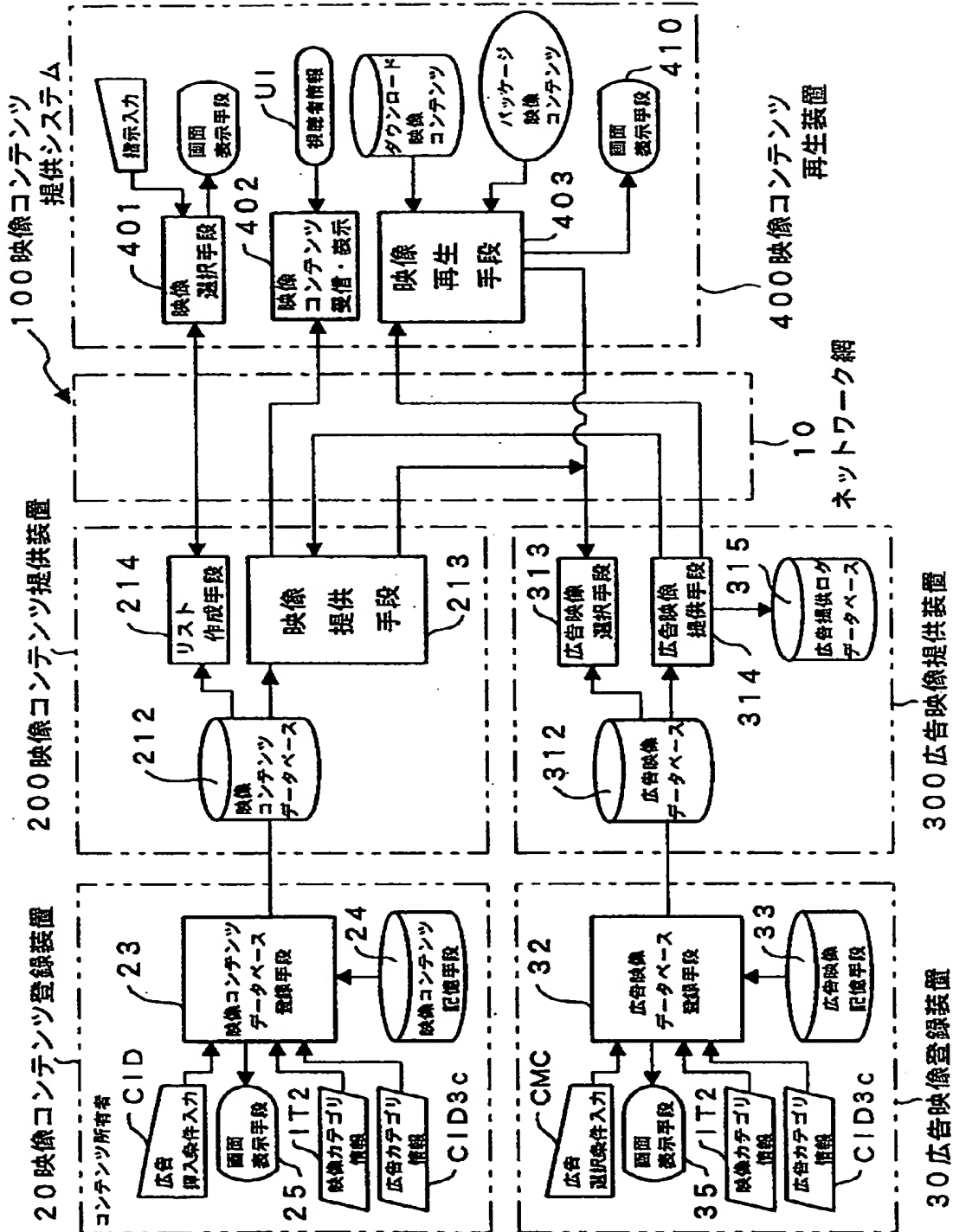
本発明の広告料集計システムの好ましい実施の形態を示すブロック図。

【符号の説明】

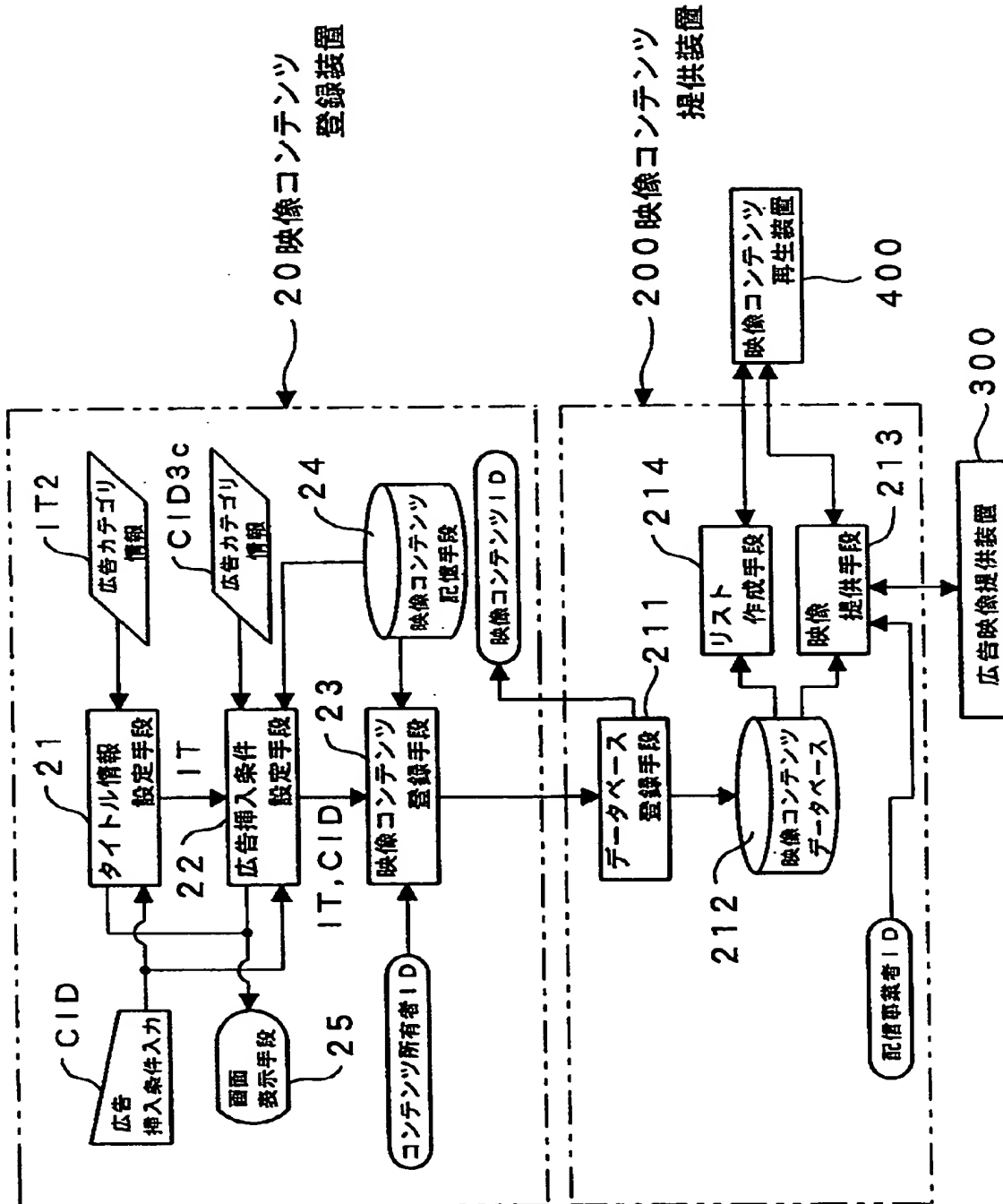
1 0 0 . . . 映像コンテンツ提供システム、2 0 0 . . . 映像コンテンツ提供装置、2 1 2 . . . 映像コンテンツデータベース、2 1 3 . . . 映像提供手段、2 1 4 . . . リスト作成手段、3 0 0 . . . 広告映像提供装置、3 1 2 . . . 広告映像データベース、3 1 3 . . . 広告映像選択手段、3 1 4 . . . 広告映像提供手段、3 1 5 . . . 広告提供ログデータベース、4 0 0 . . . 映像コンテンツ再生装置、4 0 2 . . . 映像取得手段、4 0 3 . . . 映像再生手段、C I D . . . 広告挿入条件データ、U I . . . 視聴者情報、C M I . . . 広告情報、C M C . . . 広告選択条件、T L . . . タイトルリスト、S L . . . 広告提供ログ

【書類名】 図面

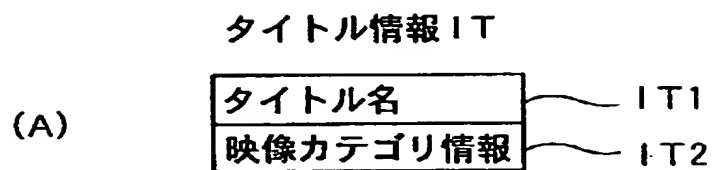
【図1】



【図2】

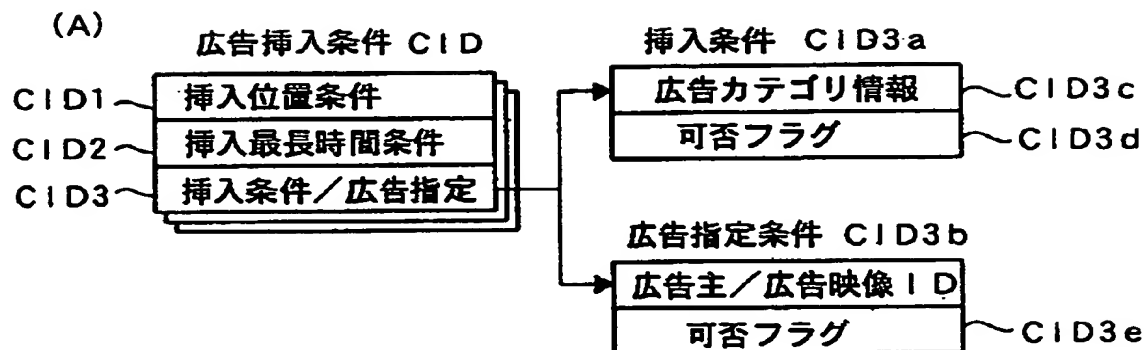


【図3】



- (B)
- 情報カテゴリ IT2
- 1 : 報道／ニュース
 - 2 : 教育
 - 3 : ビジネス
 - 4 : 映画／音楽／ドラマ
 - 5 : スポーツ
 - 6 : バラエティ
 - 7 : 医療／健康
 - 8 : グルメ／料理
 - 9 : レジャー／旅
 - 10 : その他

【図4】



広告カテゴリ情報 CID3c

- 1 : エネルギー・素材・機械
- 2 : 食品・飲料・嗜好品
- 3 : 薬品・医療用品
- 4 : 化粧品・ファッション・アクセサリ
- 5 : 精密機械・事務用品
- 6 : 家電・AV機器
- 7 : 自動車・関連品
- 8 : 家庭用品・趣味・スポーツ用品
- 9 : 不動産・住宅設備

(B)

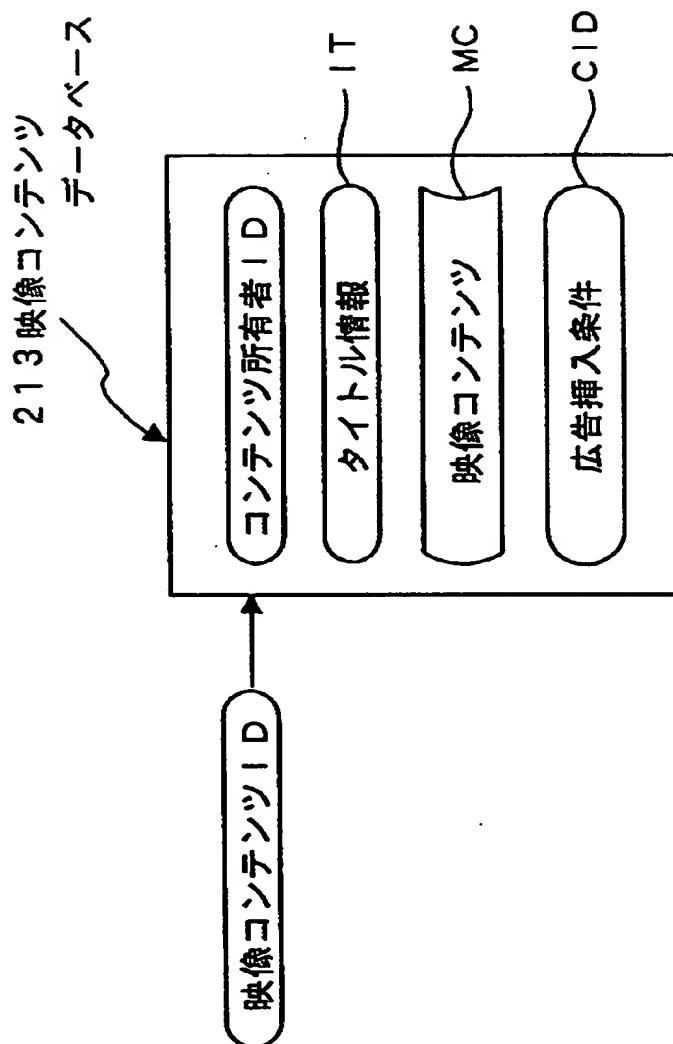
- | | |
|---------------|--------------|
| 10 : 出版 | 15 : 外食・サービス |
| 11 : 情報・通信 | 16 : 官公庁・団体 |
| 12 : 流通・小売業 | 17 : 教育 |
| 13 : 金融・証券・保険 | 18 : 宗教 |
| 14 : 交通・レジャー | 19 : その他 |

可否フラグ CID3d (CID3e)

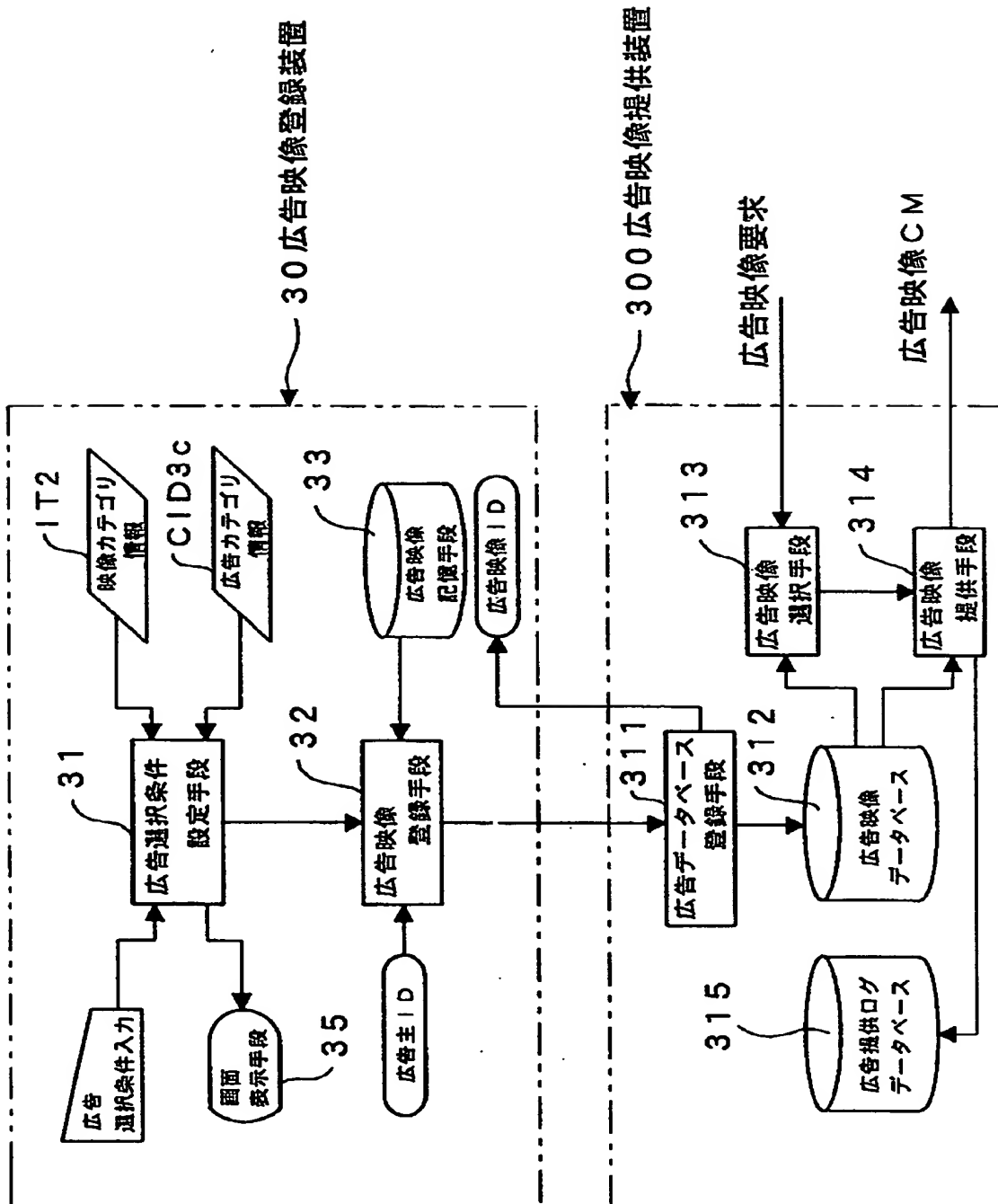
(C)

- 0 : 挿入条件/広告指定の広告のみ挿入可
- 1 : 挿入条件/広告指定の広告は挿入不可

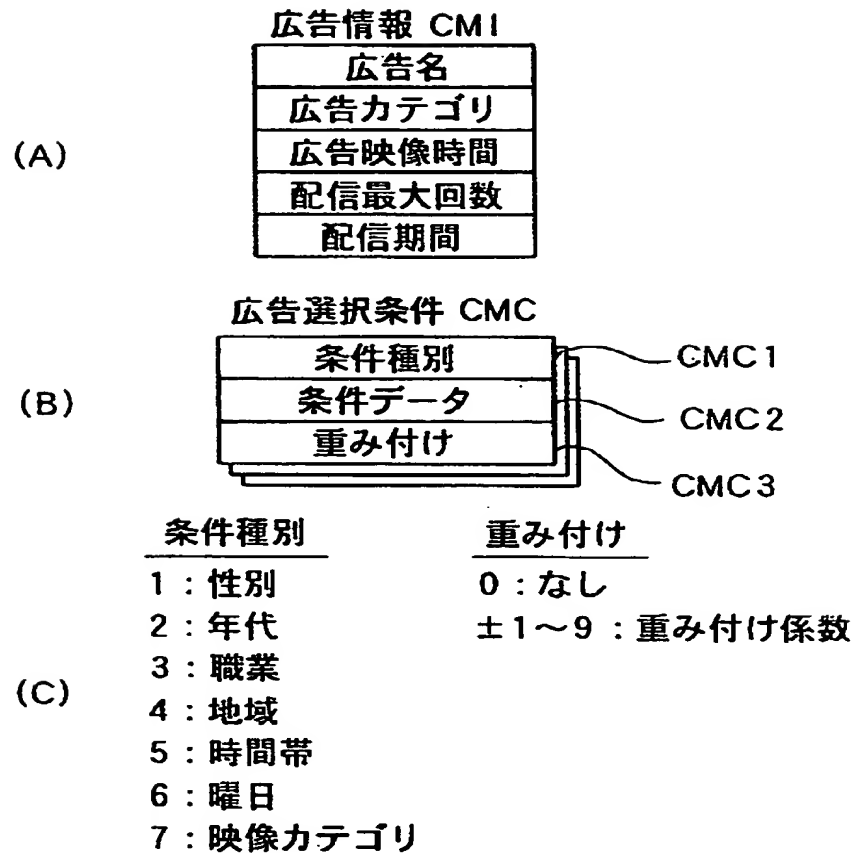
【図 5】



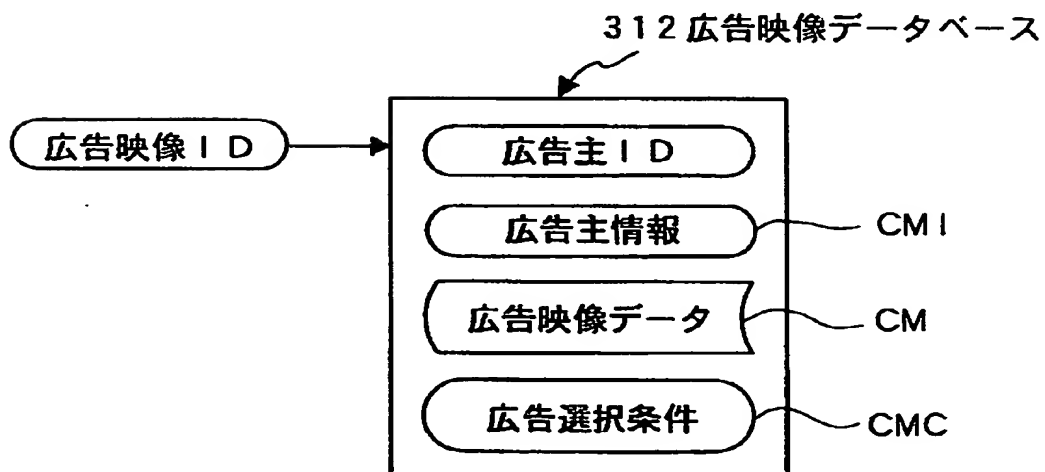
【図6】



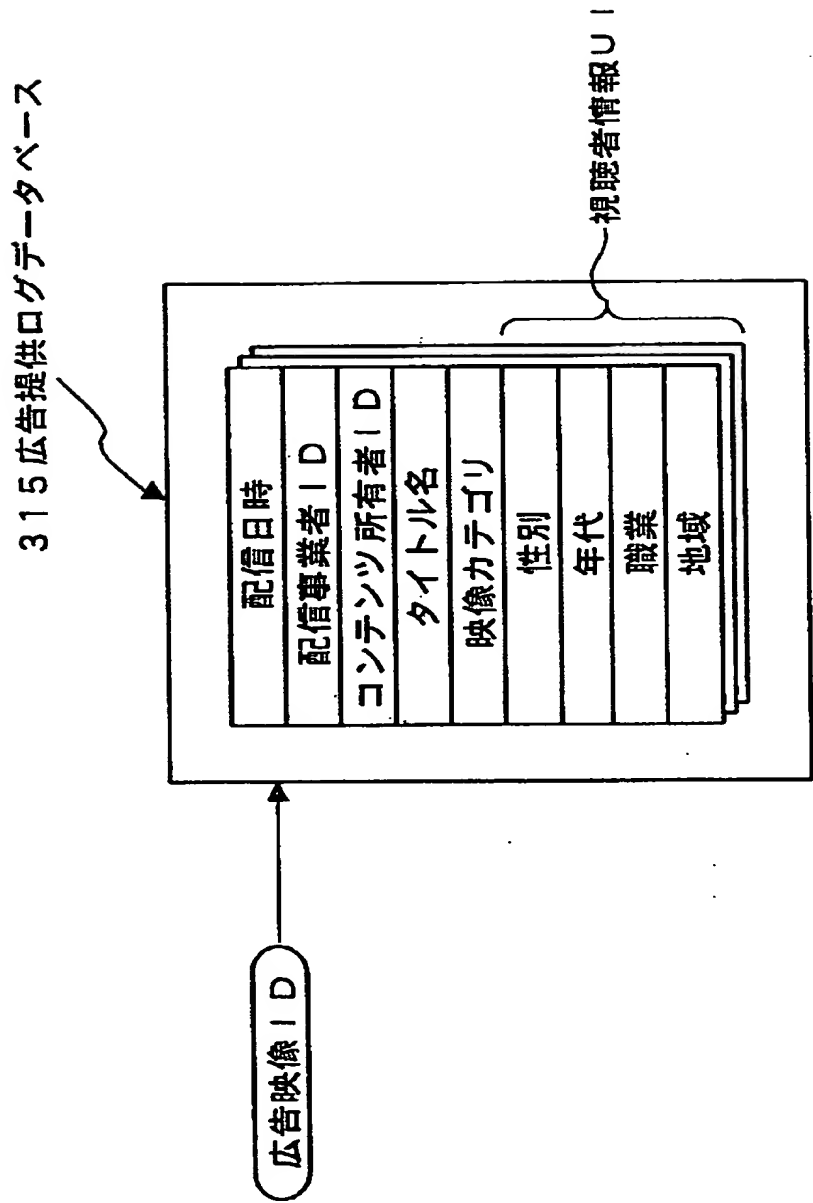
【図 7】



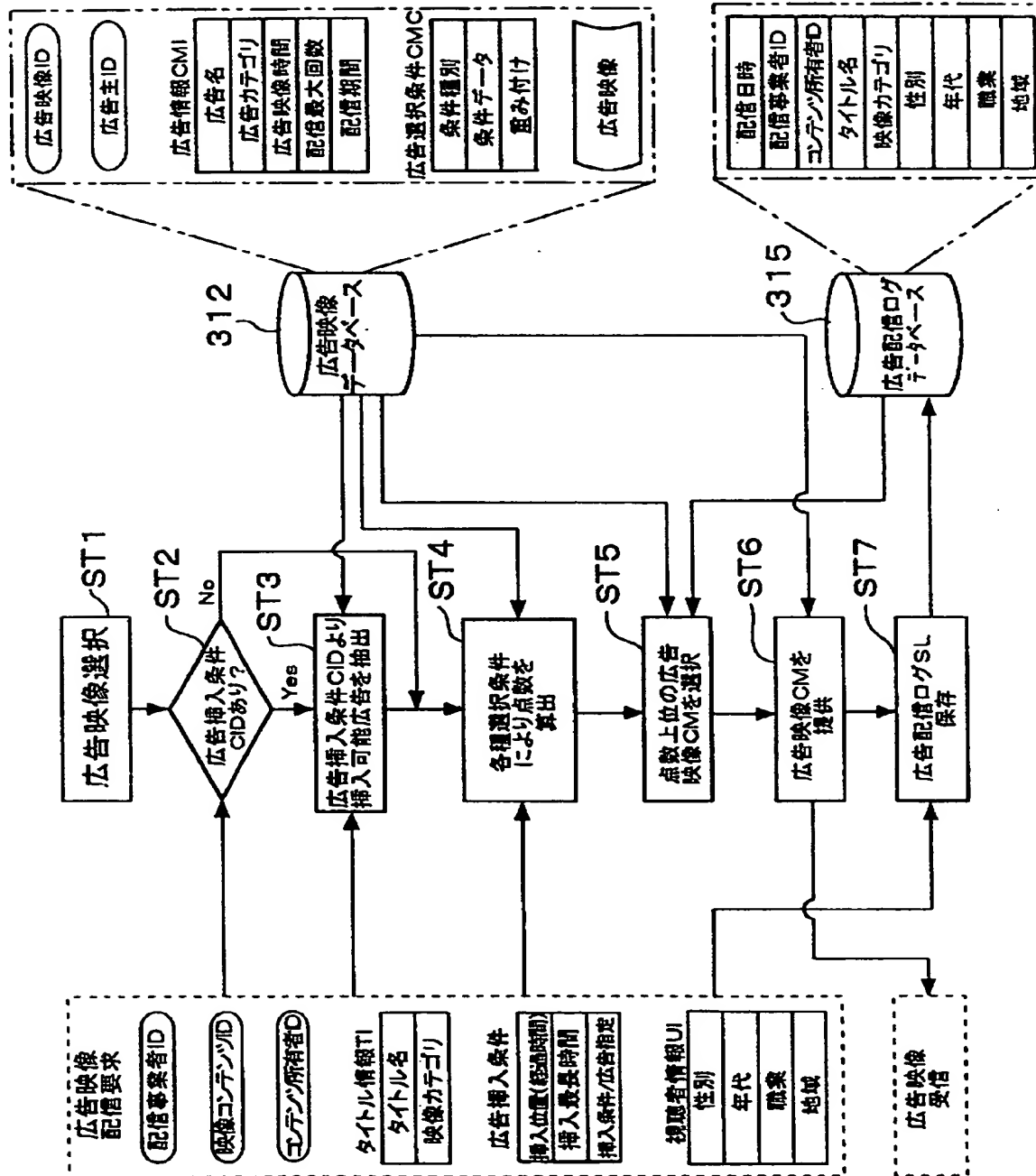
【図 8】



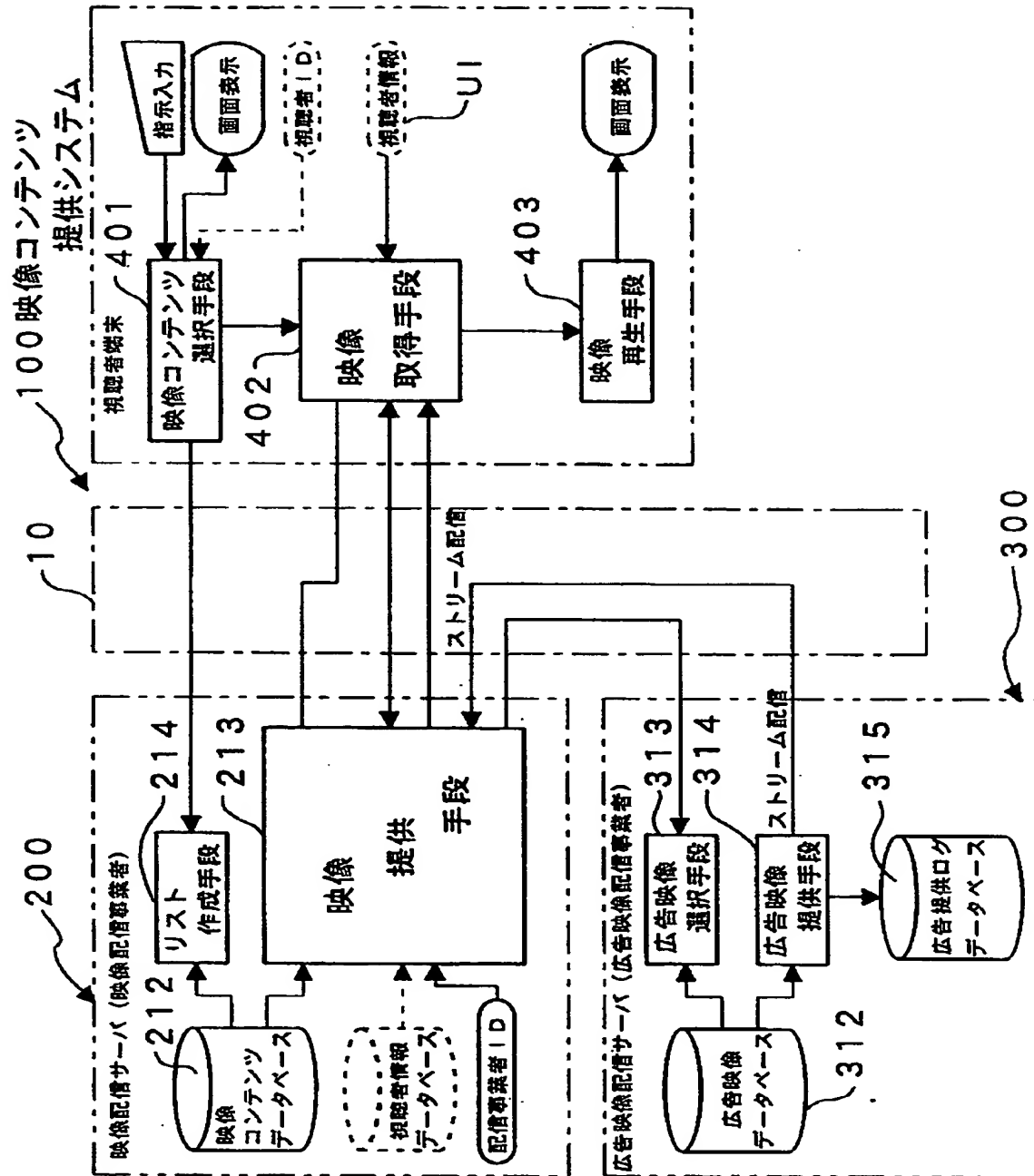
【図9】



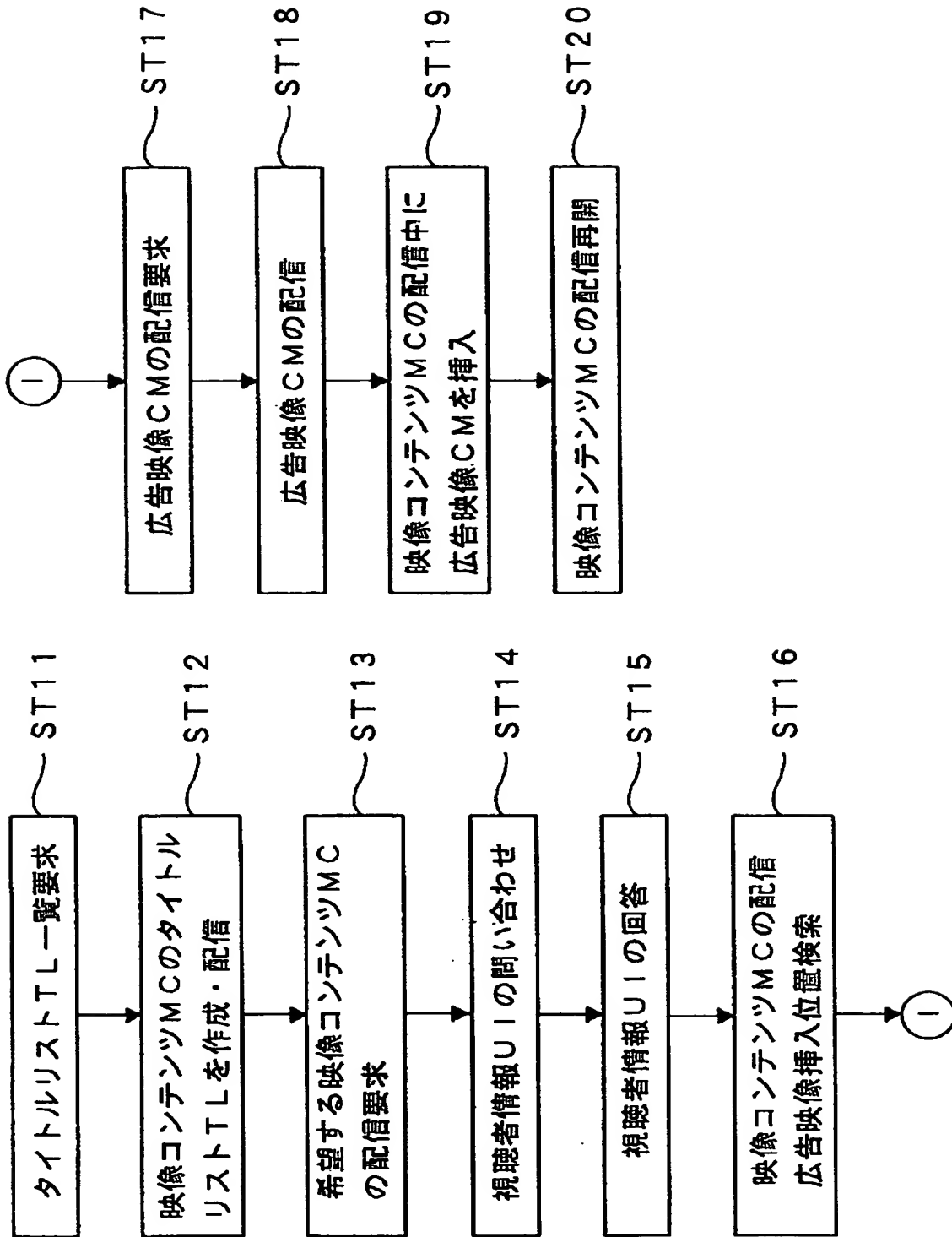
【図 10】



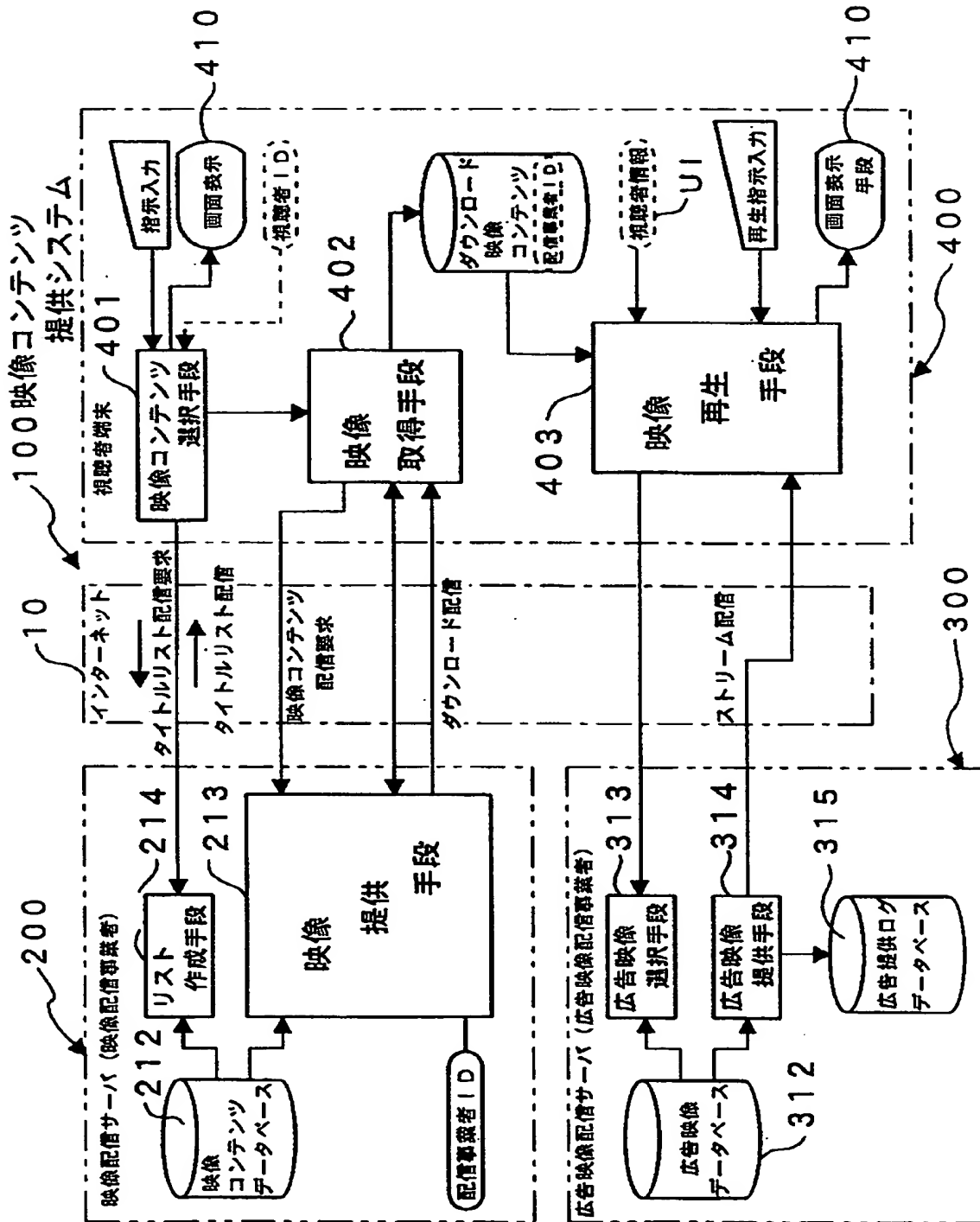
【図11】



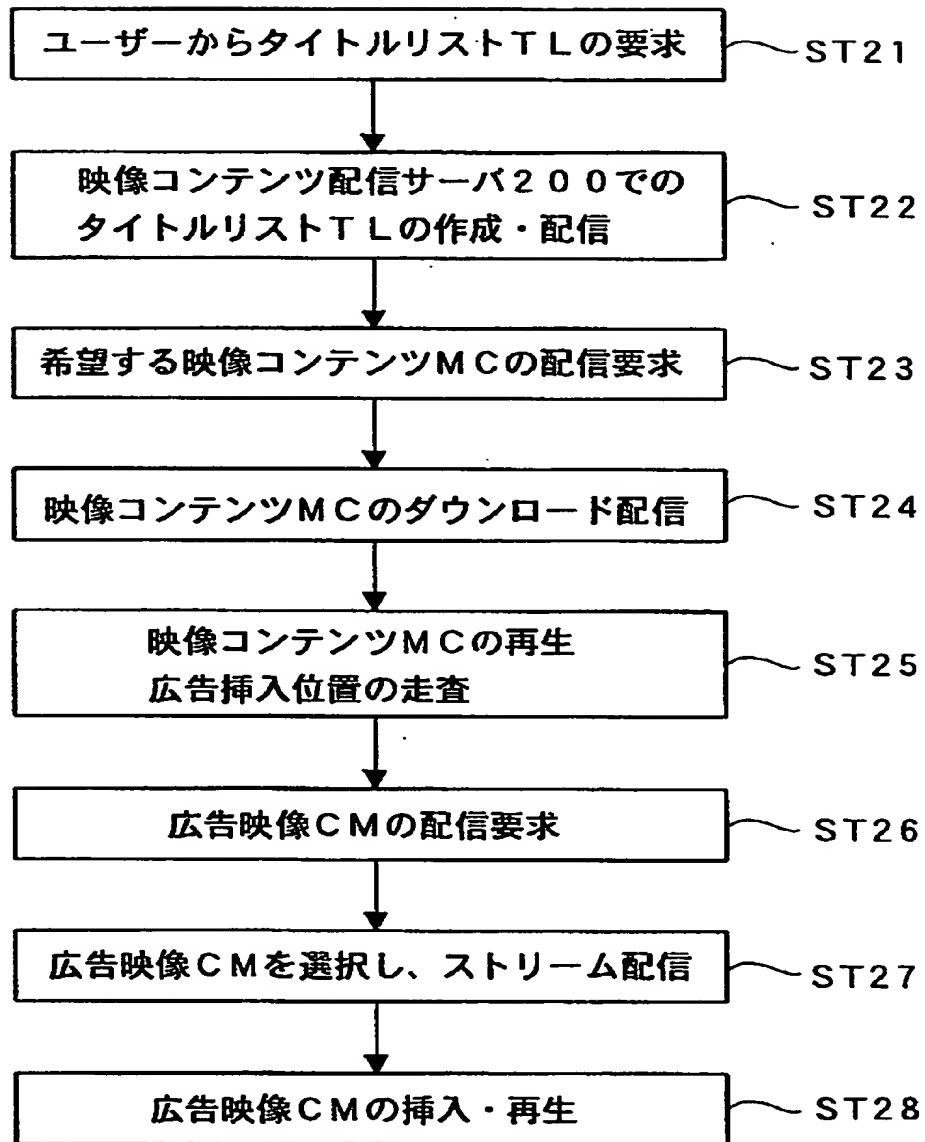
【図12】



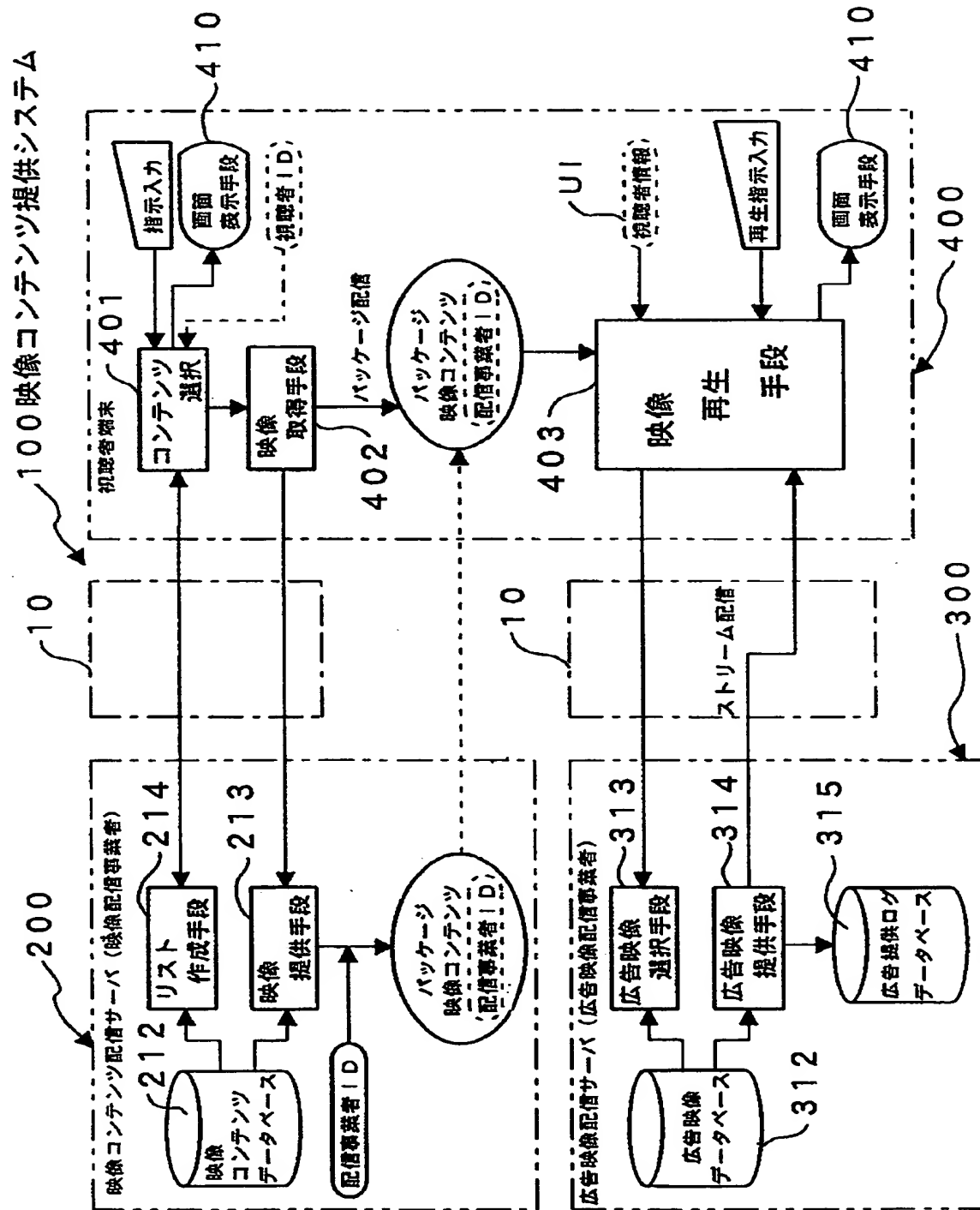
【図13】



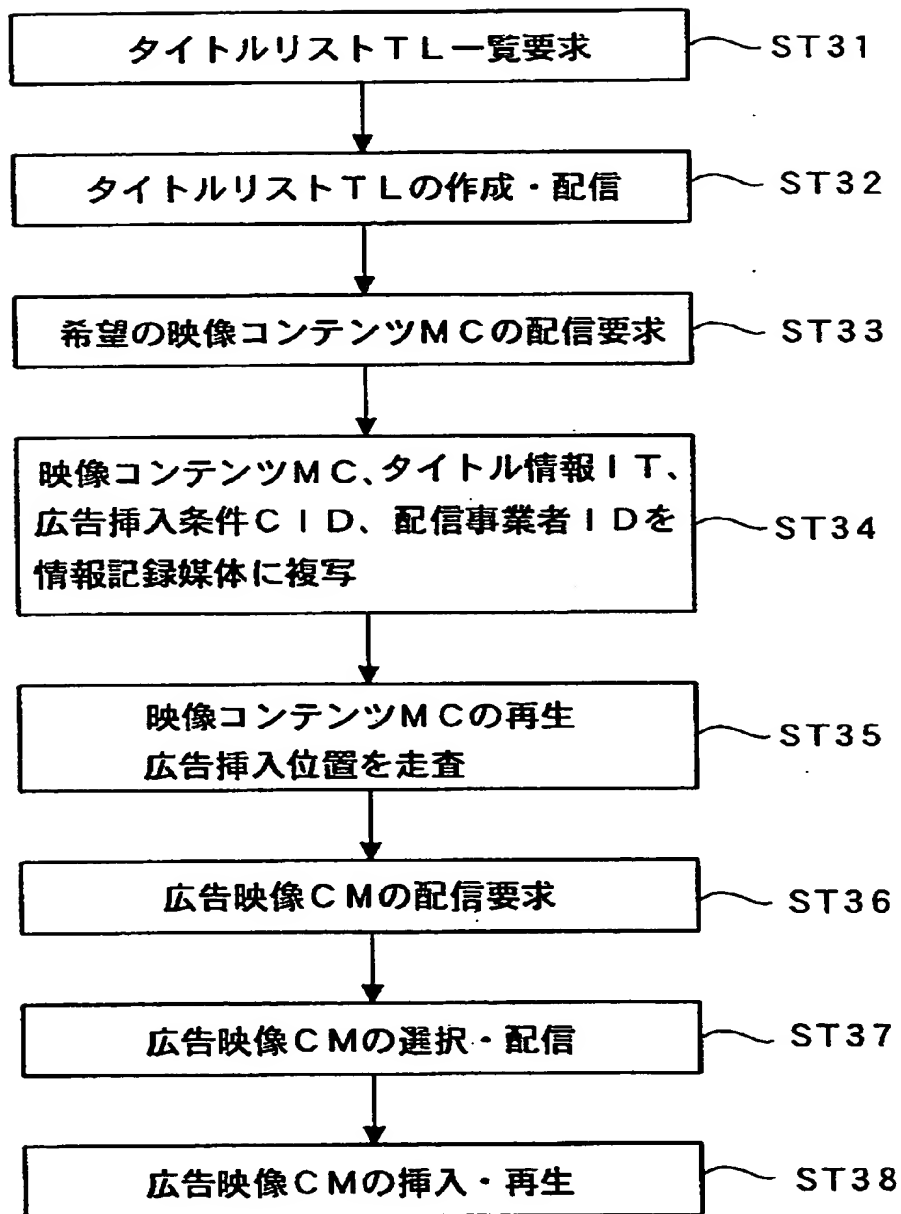
【図 1 4】



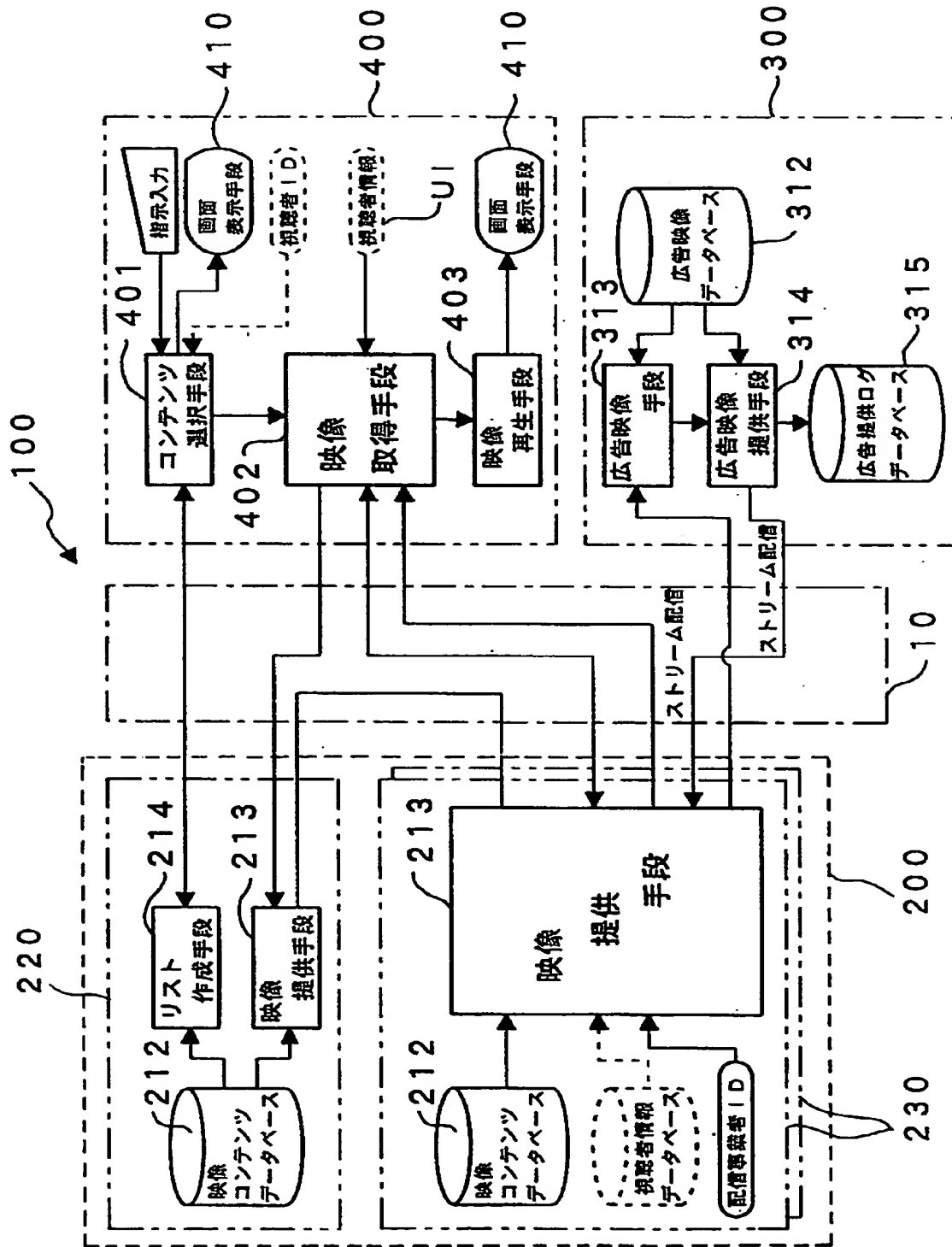
【図15】



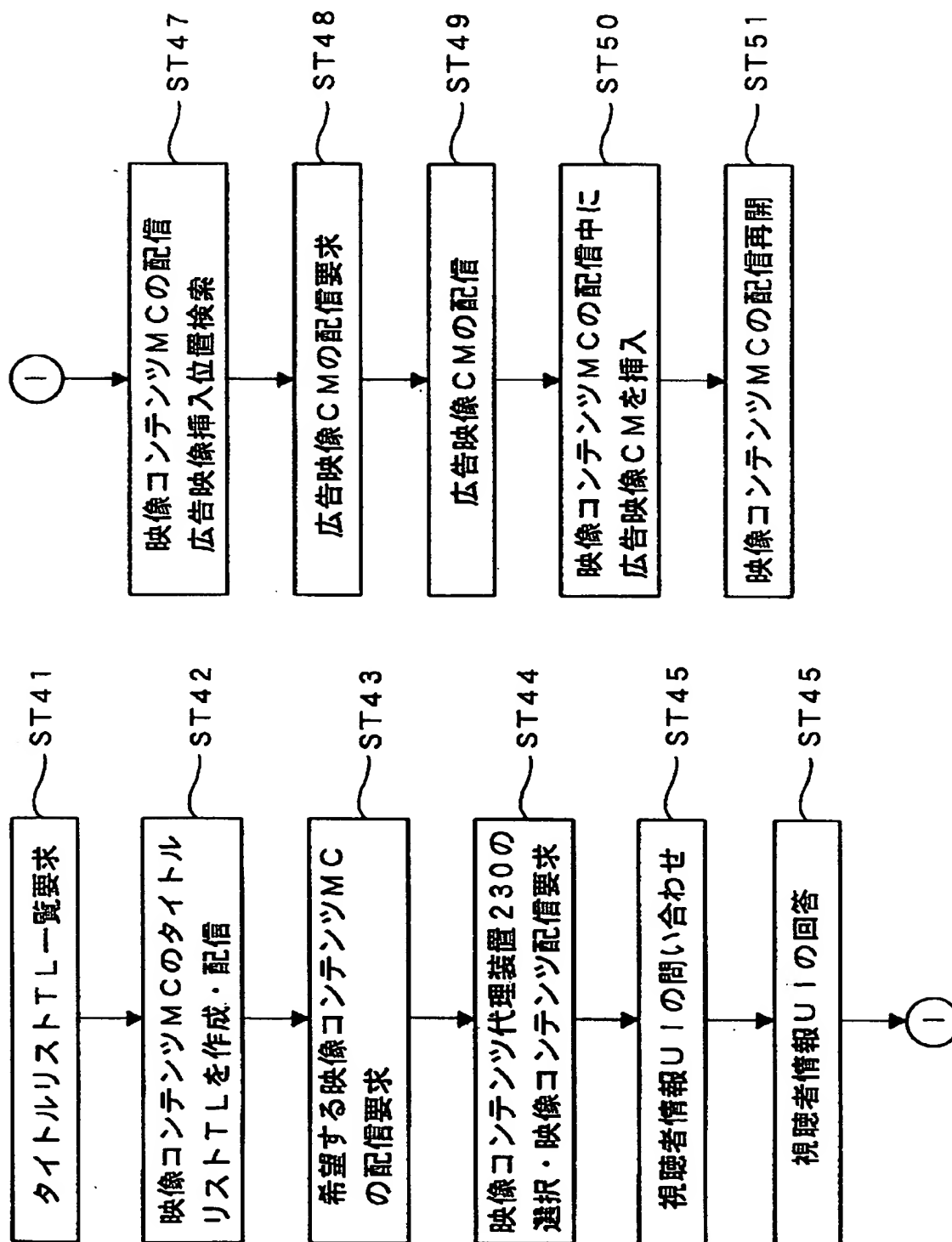
【図 16】



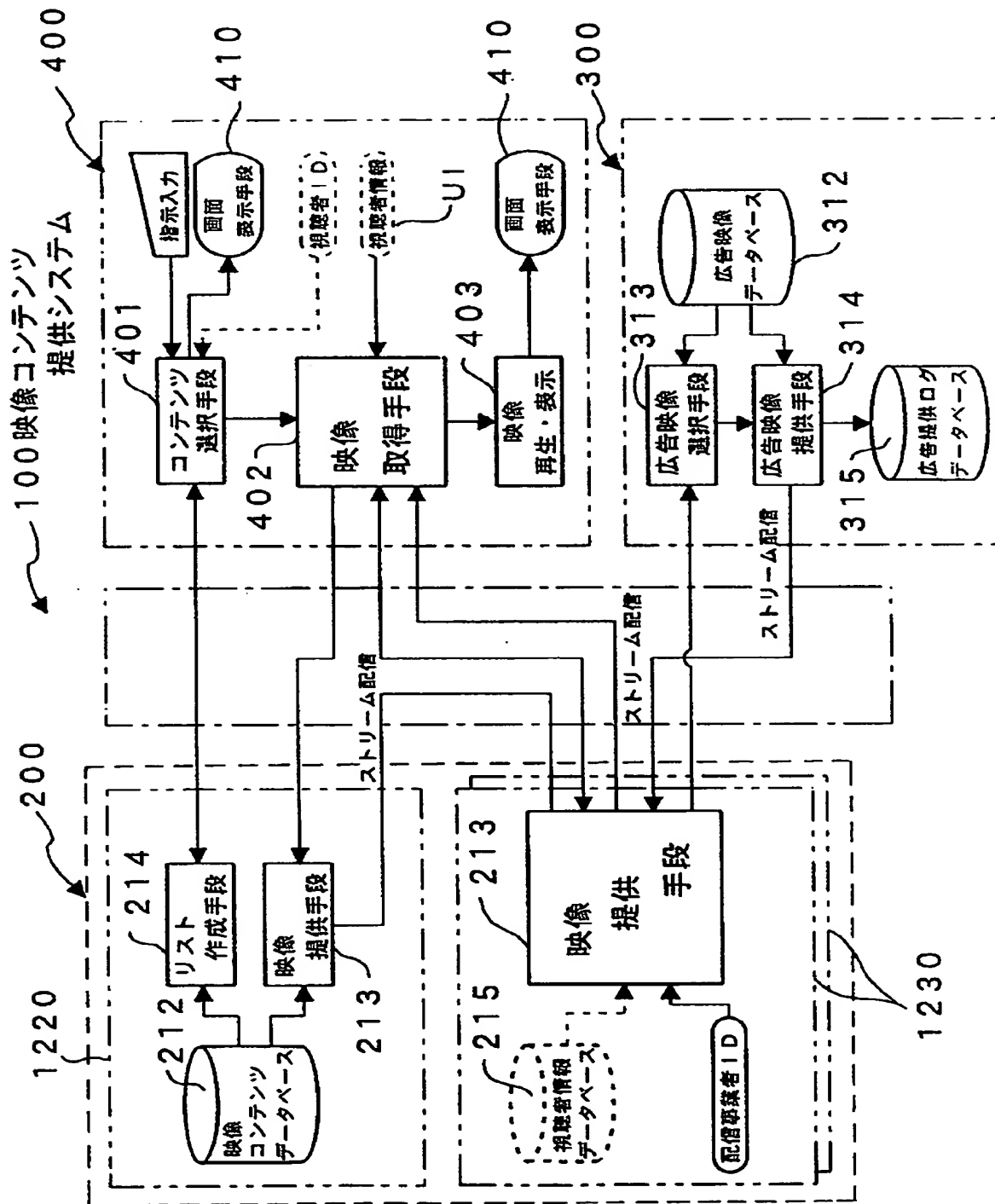
【図17】



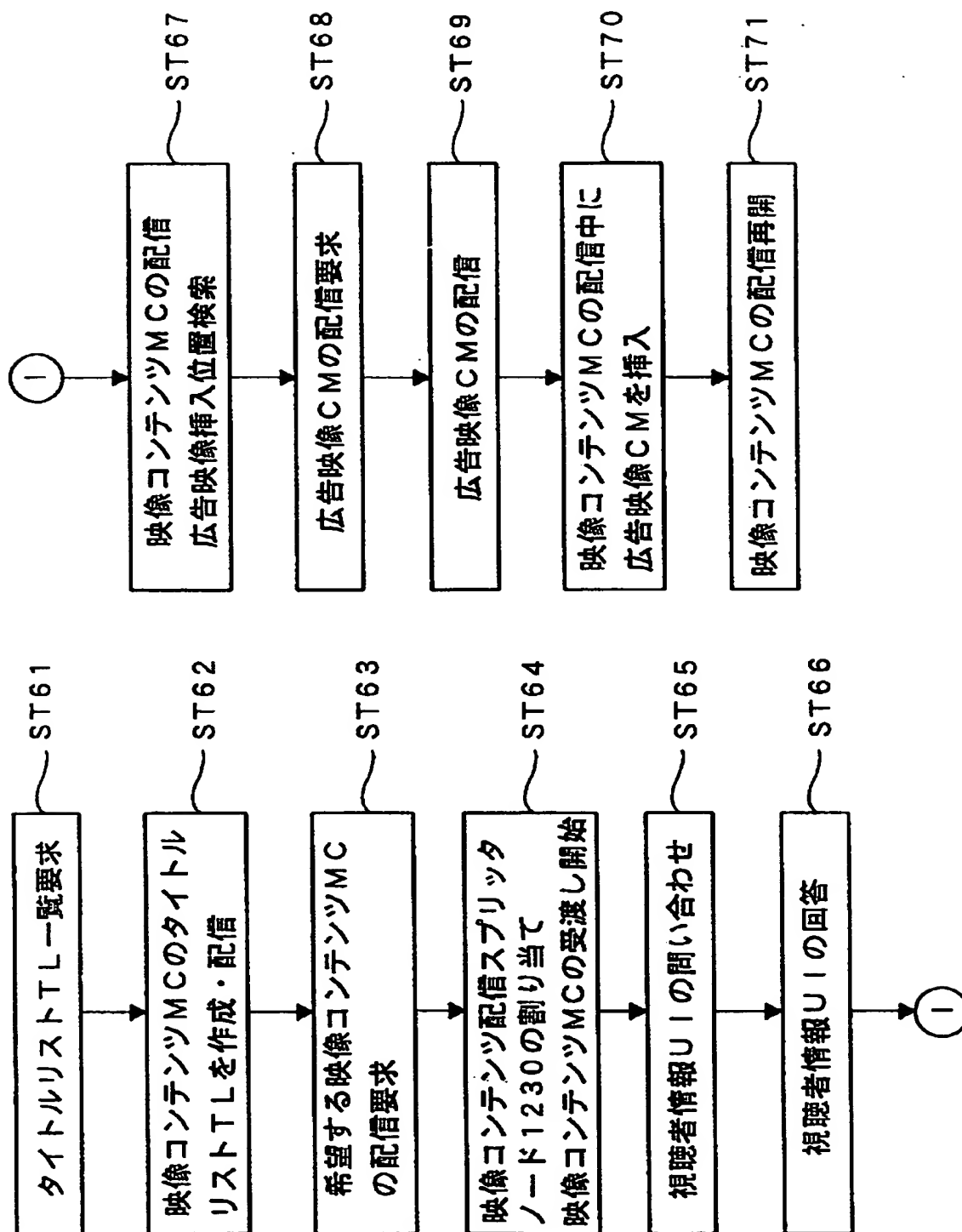
【図18】



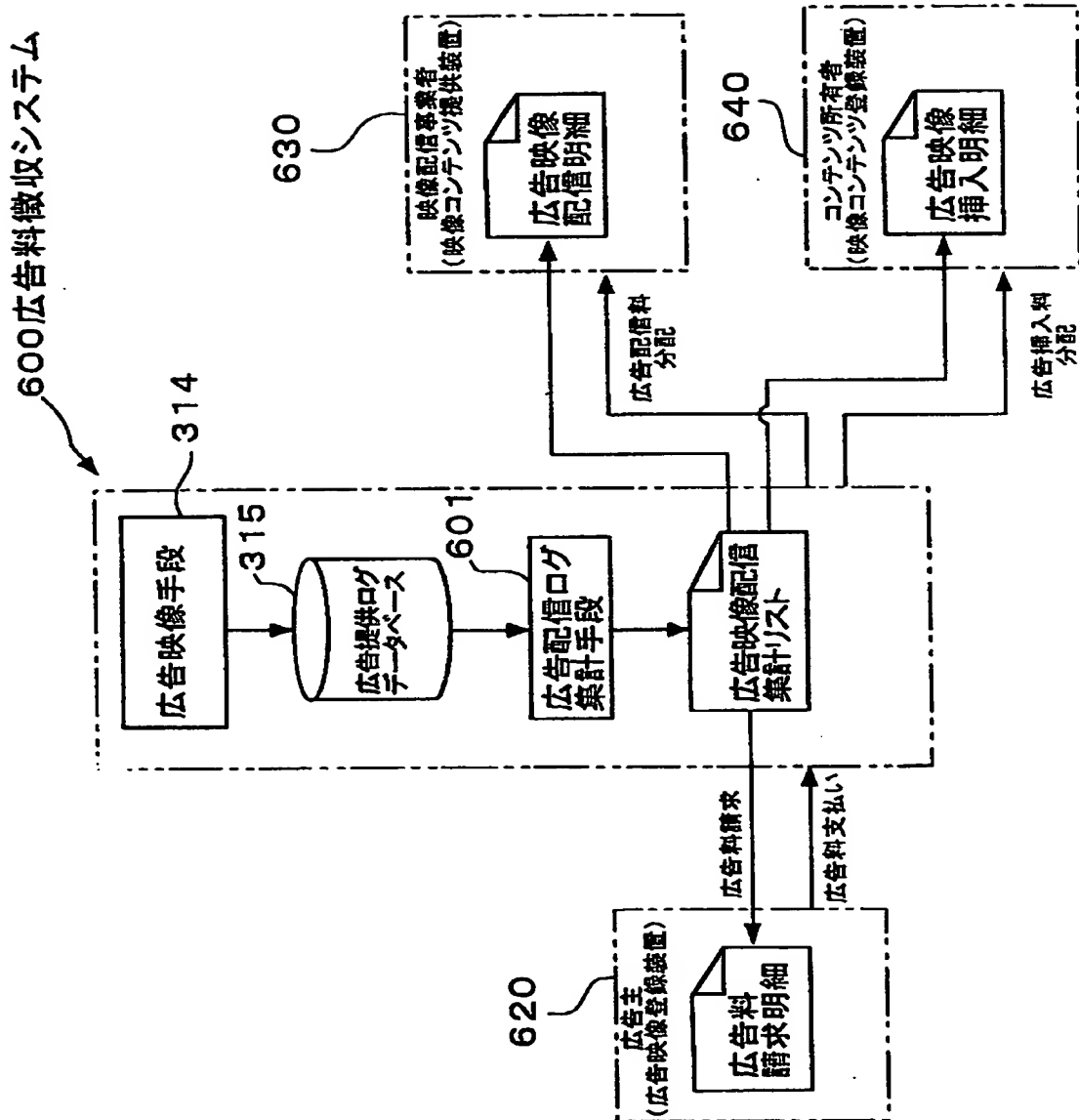
【図 19】



【図20】



【図 21】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 配信された映像コンテンツに広告映像を動的に挿入することにより、広告効果を高めることができる映像コンテンツ提供方法等を提供すること。

【解決手段】 映像コンテンツ再生装置が映像コンテンツ提供装置に映像コンテンツの配信要求をする。すると、映像コンテンツが映像コンテンツ再生装置に配信され、視聴者は映像コンテンツを利用することができる。このとき、映像コンテンツ提供装置は、映像コンテンツを配信するとともに広告挿入位置を検出し、広告映像の配信要求を広告映像提供装置に行う。すると、広告映像提供装置は、映像コンテンツに挿入する広告映像を選択して映像コンテンツ提供装置に送る。その後、映像コンテンツ提供装置は、この広告映像を映像コンテンツの広告挿入位置に挿入し、映像コンテンツ再生装置に配信する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社